

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 29 日

大阪紙商健康保険組合

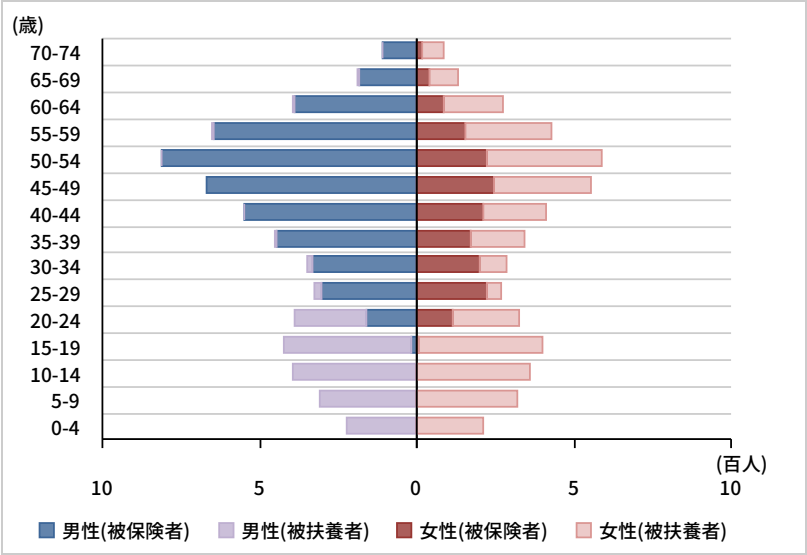
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	61866		
組合名称	大阪紙商健康保険組合		
形態	総合		
業種	飲食料品以外の小売業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	6,300名 男性73% (平均年齢46.7歳) * 女性27% (平均年齢41.92歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	11,251名	-名	-名
適用事業所数	189カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	189カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	29	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	4,321 / 5,659 = 76.4 %				
		被保険者	3,757 / 4,140 = 90.7 %				
		被扶養者	564 / 1,519 = 37.1 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	181 / 829 = 21.8 %				
		被保険者	175 / 786 = 22.3 %				
		被扶養者	6 / 43 = 14.0 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	8,219	1,305	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	13,755	2,183	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	15,793	2,507	-	-	-	-
	疾病予防費	55,260	8,771	-	-	-	-
	体育奨励費	1,600	254	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	828	131	-	-	-	-
	小計 …a	95,455	15,152	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	3,353,434	532,291	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	2.85		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	19人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	161人	25～29	303人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	329人	35～39	447人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	548人	45～49	666人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	809人	55～59	644人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	387人	65～69	181人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	111人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	5人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	116人	25～29	222人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	201人	35～39	169人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	211人	45～49	248人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	225人	55～59	152人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	83人	65～69	41人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	17人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	223人	5～9	307人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	397人	15～19	407人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	229人	25～29	22人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	15人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	4人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	5人	65～69	3人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	213人	5～9	320人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	361人	15～19	397人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	213人	25～29	47人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	88人	35～39	172人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	200人	45～49	307人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	368人	55～59	277人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	187人	65～69	91人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	67人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 事業所数が189ある総合健保組合で、被保険者数が50人未満の事業所が160ある。
2. 健保組合所在地（大阪府）にある事業所は90%（170事業所）。
3. 男女の比率は、男性が73%、女性が27%と男性が多い。
4. 平均年齢は男女ともに40歳を超えている。
被扶養者の平均年齢は、男性13.2歳、女性32.9歳。
（内40歳以上の割合 男性 1.0% 女性45.3%）
5. 産業医他医療職のいる事業所が少ない。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
1.	相対的に健診受診率が低い 被保険者・・・健診データを受け取れていない事業所がある 被扶養者・・・純粋に受診率が低い
2.	保健指導実施率が低い 保健指導を受け、終了しているにもかかわらず毎年指導対象になるリピーターが多い
3.	受診勧奨レベルの数値でも受診せず放置している人が多い 重症化予防事業でも、指導拒否やアンケートへの未回答者が8割近くある
4.	健康宣言をしている事業所が少ない＝健康経営に取り組んでいる事業所が少ない

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝	健康経営支援事業
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進活動
保健指導宣伝	医療費通知
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	特定保健指導（ねむりのジム）
保健指導宣伝	メンタルヘルスカウンセリング
保健指導宣伝	前期高齢者サポート事業
保健指導宣伝	総合リスク者重症化予防
保健指導宣伝	市販薬斡旋事業
保健指導宣伝	すこやか健保の配布
保健指導宣伝	育児書の贈呈
保健指導宣伝	「社会保険の事務手続き」配布
保健指導宣伝	禁煙対策事業
保健指導宣伝	健康管理啓発のパンフレット配布
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	一般定期健診
疾病予防	子宮がん検診
疾病予防	乳がん検診
疾病予防	前立腺がん検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	ファミリー歯科健診
疾病予防	ピロリ菌検査
疾病予防	線中がん検査
体育奨励	野球大会
体育奨励	ボウリング大会
体育奨励	テニス大会

体育奨励	ウォーキングポイントプログラム
その他	JTB契約保養所
その他	亀の井ホテル利用補助金
その他	たびゲーター利用補助金

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1	健康管理事業推進委員会	健康教室や各種保健事業についての企画・立案。実施結果の分析・評価を行う。	一部の事業所	男女	18～(上限なし)	被保険者	88	5月：前年度の保健事業の結果報告および当年度の保健事業について検討。 12月：当年度の保健事業の進捗状況報告および新年度の事業について検討。	集合しての会議が行えたため、活発な意見が出た。	特になし	5
	1,2,5	健康管理委員会	参加者数を増やし、健康意識を向上させる	全て	男女	18～(上限なし)	基準該当者	213	8月・10月ともにオンラインでセミナーを開催	テーマが現実生活に沿った内容だったため、とても参考になったという感想が多かった。	・参加したくなるようなテーマの選択 ・オンラインセミナーのため、ネット環境にない人たちの参加ができない ・就業時間中のため参加できなかった人がいた可能性がある	4
	1	健康経営支援事業	事業主および従業員の健康意識を向上させ、健康経営に取り組む事業所を増やす	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	24	健康宣言実施 6事業所 優良法人認定 1事業所 セミナー2回実施	事業主の健康意識向上。 集合形式のセミナーとオンラインセミナー各1回実施した。	事業主および従業員の健康意識を上げる必要がある。 健康宣言事業の認知度が低い。	3
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	機関紙	情報発信・健康意識の向上	全て	男女	18～74	被保険者	1,651	4月、9月、1月に各6,000部発行。 被保険者全員に配布。	タイムリーな周知・情報発信。	自宅へ持ち帰ってもらえるような魅力的な内容にする必要がある。 事業所配布のため、被保険者全員に行き渡らない事業所がある。	5
	2	ホームページ	情報発信・健康意識の向上	全て	男女	0～74	加入者全員	350	随時更新	タイムリーな情報発信 申請書等の取り寄せ事務の軽減	見やすいページ作りが必要	5
	7	ジェネリック医薬品促進活動	ジェネリック医薬品の普及による薬剤費の削減	全て	男女	0～74	加入者全員	541	・医療費通知と同送のため、確定申告に間に合うように2月末に配布 ・ジェネリック切替カードを機関誌および事務所窓口にて配布	・促進通知を医療費通知と同送したので、発送事務の軽減および経費を削減できた	1年間のデータをまとめて送るため、効果が見えにくい。	5
	8	医療費通知	医療費コスト意識の向上	全て	男女	0～74	加入者全員	541	確定申告に間に合うように2月末に発行(裏面にジェネリック医薬品使用促進通知を印刷)	ジェネリック医薬品使用促進通知と同送のため、発送事務の軽減および経費を削減できた。 1月発行の機関誌やHPで発行時期について広報したので、例年より問い合わせが減少した。	12月受診分のデータまで記載するには、発送時期は最速で2月末になり、被保険者の手元に行くのが3月に入ってからになる。 そのため発行時期について問い合わせが多いので、広報周知の必要がまだある。	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査(被保険者)	実施率を上げて健康維持・増進を図る	全て	男女	40～(上限なし)	被保険者	0	事業所が労安法に基づいた事業主健診を実施し、特定健診の項目を満たしたときに補助金を支給。 対象者4,140人中3,757人受診。	労安法の事業主健診と協働しているので受診しやすい。 補助金請求のない事業所に案内をした結果、前年度より受診者が増加した。	補助金支給の広報周知が足りない。 事業主が健診を受ける体制を整えていない事業所に所属している人に受診させることが難しい。	4
	3	特定健康診査(被扶養者)	受診率が低く、健康意識向上以前の問題であるので、受診率の上昇をめざす	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	3,647	5月下旬に被扶養者の自宅へ送付。 対象者1,519人中564人受診(生活習慣病健診受診者283人含む)	パート先で受診している被扶養者へ向けて、わかりやすいチラシを作成し送付した結果、データ提供数が増加した。 集団検診できる健診機関と契約し、受診しやすい環境を整えた。 未受診者へ受診勧奨の案内を送付したところ、受診者が増加した。	コロナ禍で受診者数が減少したまま復活していない。	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	対象者の特定保健指導利用の環境を整え、実施率を向上させる	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	7,600	健診機関と健診当日の初回面接を契約・実施。 コロナ禍のため、組合保健師による事業所への訪問指導とオンラインでの両方で行い、平行して利用券を配布した。	保健師から事業所へ働きかけ、就業時間中に保健指導を行えるよう環境を整えた。 主だった健診機関での健診当日の初回面接を可能とし、事業所へ周知を図った。 webが可能な対象者へオンライン面接を行った。	コロナ禍で事業所訪問が難しいところが増えているが、オンラインでの実施については、利用者側の環境整備が困難なことが多いので難しい。 健診当日の初回面接までで中断する者が多い。 指導対象者および事業所担当者が、指導の必要性を理解していない。 毎年該当するリピーターが多い。	4
	2,4	特定保健指導 (ねむりのジム)	・モデル実施として2kg・2cmの減にチャレンジしてもらい結果を出す ・積極的支援対象者の次年度のリピーターを減少させる	全て	男女	40～65	被保険者,被扶養者,基準該当者	64	積極的支援対象者に案内を送り、希望者に睡眠センサーを送付。 webで初回面接を行い、専用アプリに日々の睡眠状況と歩数を登録してもらう。 3か月後アプリに結果を登録し、終了。 9月から4月にかけて実施。	・わかりやすいチラシを作製し、配布 ・案内を行った。 ・保健師より直接参加勧奨を行った。 ・事業主へ働きかけ、事業所より参加促進を行ってもらった。	・プライベートや仕事ともにスマホアプリ、デジタルに馴染みがなく、新しいものを取り入れることのハードルが高い。 「3か月で2kg・2cm減」という目標が高すぎて重荷に感じているなどの理由から参加者が想定以上に少なかった。 ・保健師との接触が初回面接時のみで、終了までアプリのみのやり取りになってしまうため、行動変容への動機づけが弱かった。	1
保健指導宣伝	6	メンタルヘルスカウンセリング	心の健康に関する相談窓口を設置し、組合員のメンタルの悩みの軽減の一助となる。	全て	男女	0～74	加入者全員	901	年間を通じて実施。 電話相談：39回 面接相談：12回	匿名で、無料で受けられる	事業の周知・宣伝が必要	4
	2,5	前期高齢者サポート事業	前期高齢者の医療費適正化健康意識の向上	全て	男女	65～65	被保険者,被扶養者,基準該当者	27	10月に対象者の自宅へ冊子を送付。 被保険者：52人 被扶養者：9人 合計：61人	特になし	特になし	5
	4	総合リスク者重症化予防	高血圧、糖尿病、脂質異常症の重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	543	年間を通じて保健師により対象者を抽出（年2回）。 健診の時期により取りこぼしがないようにした。 対象者：91人 指導成立者：20人	指導成立者のうち39%が生活習慣の改善に取り組んだ。	調査票返戻率が低い。 指導成立者の医療機関の受診有無の確認がとれていない。	3
	8	市販薬斡旋事業	セルフメディケーション意識の向上	全て	男女	18～74	被保険者	1,349	事業所を2グループに分けて、9月と1月に行った。 9月：1,438人 1月：1,295人 合計：2,733人	1人につき500円の補助を行った	事業の周知不足 事業所へ送付するため、被保険者本人の手元に渡っていない事業所がある	4
	5	すこやか健保の配布	健康保険についての広報・周知	一部の事業所	男性	18～（上限なし）	基準該当者	22	月1回	特になし	特になし	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	8	育児書の贈呈	子育てのサポート	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者,基準該当者	194	年間を通じて、新生児扶養増の異動届および出産育児一時金の申請書に基づき、育児書を贈呈した。56人に贈呈。	特になし	特になし	5
	5	「社会保険の事務手続き」配布	担当者への健康保険に関する知識の教育・向上	全て	男女	18～（上限なし）	その他	102	6月算定基礎届手続き書類と同送	特になし	特になし	5
	2,5	禁煙対策事業	禁煙に取り組んでもらい、生活習慣病のリスク軽減、特定保健指導の該当者から外れることを目指す。	全て	男女	20～（上限なし）	被保険者,被扶養者,基準該当者	192	年間特定保健指導該当者に、保健指導の中で禁煙サポート薬を斡旋。事業所へ周知案内を行い、特定保健指導該当者以外の希望者にも実施。5人中2人達成。	保健師が毎月サポートをするので取り組みやすかったとのこと。広報誌からの申し込みが増えた。	保健指導対象者は禁煙自体を拒否する人が多い。事業の周知をさらに広げる必要がある。実際の禁煙達成者が少なく、その増加が課題。	3
	5	健康管理啓発のパンフレット配布	健康保険に関する知識の教育・向上	全て	男女	18～74	加入者全員	--	-	-	-	-
疾病予防	3	生活習慣病健診	受診者の増加 疾病の早期発見	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	41,275	年間を通じて。 対象者 5,196人（R5.3月末被保険者数+40歳未満の被扶養者） 受診者 4,583人（40歳以上被扶養者283人含む） ＊決算額には旧年度144人分含む	労安法の事業主健診と協働 データが収集できていない事業所へ、提出するよう働きかけた結果データ数が増えた。	人間ドック等、生活習慣病健診以外の健診を受診した者のデータが収集できていない。 補助金申請の手続きがないため、健診を受けていると思われるがデータが収集できない事業所がある。 事業主健診を実施しない事業所がある。	4
	3	一般定期健診	受診者の増加 疾病の早期発見	全て	男女	18～34	被保険者,被扶養者	1,889	年間を通じて 対象者 1,371人（R5.3月末被保険者数） 受診者 1,259人 ＊決算額には旧年度24人分含む	労安法の事業主健診と協働 データが収集できていない事業所へ、提出するよう働きかけた結果データ数が増えた。	生活習慣病健診対象年齢者が、項目の少ない一般健診を受診しているケースが見受けられる	4
	3	子宮がん検診	受診者の増加 疾病の早期発見	全て	女性	35～74	被保険者,被扶養者	329	年間を通じて 321人受診 ＊決算額には旧年度8人分含む	特になし	受診者が増えるよう、広報周知が必要	4
	3	乳がん検診	受診者の増加。 疾病の早期発見。	全て	女性	35～74	被保険者,被扶養者	718	年間を通じて 353名受診 ＊決算額には旧年度8名分含む	特になし	受診者が増えるよう、広報周知が必要	4
	3	前立腺がん検診	受診者の増加。 疾病の早期発見。	全て	男性	35～74	被保険者,被扶養者	680	年間を通じて 676人受診 ＊決算額には旧年度4名分含む	特になし	受診者が増えるよう、広報周知が必要	5
	3	インフルエンザ予防接種補助金	インフルエンザ重症化予防 医療費の削減	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	3,027	10月～1月の期間の接種が対象。 2,979人分支給。	特になし	書類不備・無資格請求が多いので、周知に工夫が必要	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3,4	ファミリー歯科健診	う蝕、歯周病等の早期発見から歯科医療費の将来的な削減を目指す	全て	男女	0～74	加入者全員	369	前期：8～9月 17会場 後期：1～3月 22会場 65人受診。	歯科医師による検査と、歯科衛生士によるクリーニングを無料で受けられたことが高評価を得た。近畿圏のみでなく全国に会場を設けたので、参加者が増加した。	会場によって参加人数にばらつきがあるため、会場の地域設定の再検討が必要。	4
	2,3,4	ピロリ菌検査	ピロリ菌陽性者の発見 早期に受診・除菌治療を促し、胃がんの発生を予防する	全て	男女	15～（上限なし）	加入者全員,基準該当者	204	9月 年度内30歳到達者へ無料実施の案内を送付。 113名中54名受診。 その他の年齢の希望者へ自己負担で幹旋。 120名受診。	特になし	無料者と有料者の案内を同時にしたため、案内文の内容が理解しづらく問い合わせが多かった。 陽性であっても治療を受けない人が多い。	4
	2,3,4	線中がん検査	がんの早期発見・治療を目的 前期高齢者になる前に治療を終了させ高齢者の医療費を抑制する	全て	男女	62～62	被保険者,被扶養者,基準該当者	747	5～7月 年度内62歳到達者へ無料実施の案内を送付。	わかりやすい案内文を作製したため、問い合わせ等もなくスムーズに進行できた。	すべての手順がPCまたはスマホ対応のみだったため、参加のハードルが高かった。 回収方法が限定的なので、参加者をしぼる必要があった。	4
体育奨励	8	野球大会	運動意識の向上	全て	男性	18～74	被保険者	200	4～6月 母体組合に協賛して開催。 16チーム258名参加。	特になし。	参加者の減少。 コロナ禍で参加できない事業所が多かった。	4
	8	ボウリング大会	運動意識の向上	全て	男女	18～74	被保険者	69	2月 母体組合と共催で実施。 15チーム45名参加。	特になし。	参加者の減少。 コロナ禍で参加できない事業所が多かった。	4
	8	テニス大会	運動意識の向上	全て	男女	18～74	被保険者	70	11月 母体組合と共催で実施。 40チーム71名参加。	特になし。	参加者の減少。 コロナ禍で参加できない事業所が多かった。	4
	2,8	ウォーキングポイントプログラム	健康増進・運動習慣の定着を図る	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	560	4～6月と10～12月の2回 春：参加者313人 秋： ” 337人 合計 650人	特になし	コロナ禍で参加数が少ない。	4
その他	8	JTB契約保養所	心身の保養	全て	男女	3～74	被保険者,被扶養者	114	年間。 25人に支給。	特になし	コロナ禍で利用者が少なかった	4
	8	亀の井ホテル利用補助金	心身の保養	全て	男女	6～74	被保険者,被扶養者	15	年間。 7人に支給。	特になし	コロナ禍で利用者が少なかった。	4
	8	たびゲーター利用補助金	心身の保養	全て	男女	3～（上限なし）	被保険者,被扶養者	84	年間。 20人に支給。	特になし	コロナ禍で利用者が少なかった	4

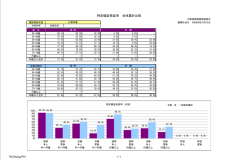
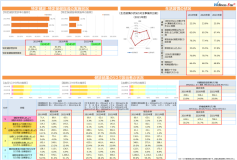
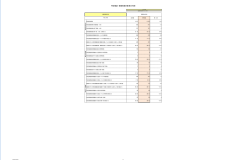
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

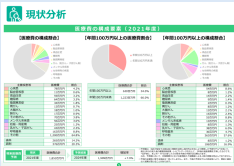
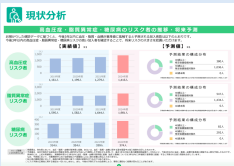
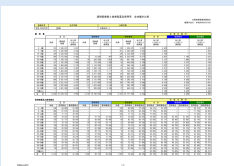
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		基本情報および医療費の動向	医療費・患者数分析	-
イ		健診受診状況	特定健診分析	-
ウ		生活習慣の状況および健診結果のリスク該当者の状況	健康リスク分析	-
エ		特定保健指導の実施状況 1	特定保健指導分析	-
オ		特定保健指導の実施状況 2	特定保健指導分析	-
カ		医療費の構成要素 1	医療費・患者数分析	-

キ		医療費の構成要素 2	医療費・患者数分析	-
ク		3大疾病の推移・罹患率・将来予測	健康リスク分析	-
ケ		生活習慣分析	その他	-
コ		循環器病罹患率	健康リスク分析	-
サ		がん罹患率	健康リスク分析	-
シ		ジェネリック医薬品使用状況	後発医薬品分析	-

組合全体の医療費の状況

総医療費と1人あたり医療費			重複受診等の状況		
	組合全体			組合全体	
総医療費	533.0百万円		重複受診者	0人 0.0万円	
被保険者1人あたり医療費	155,125円		頻回受診者	0人 0.0万円	
健保連平均1人あたり医療費	159,364円		重複投薬者	8人 10.9万円	

上段：該当者数、下段：削減可能医療費推計

被保険者1人あたり医療費の構成割合（2021年度）

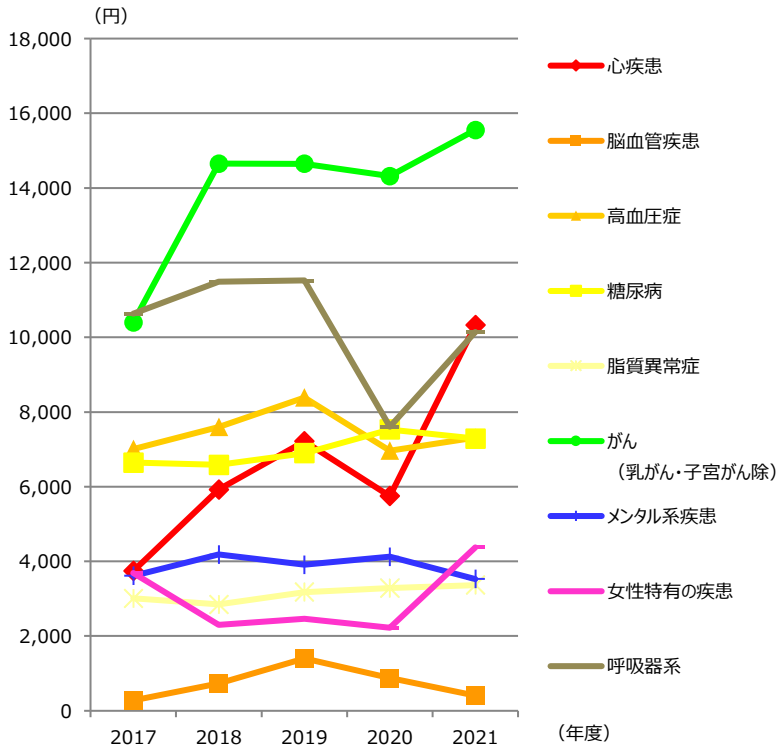


被保険者1人あたり医療費の推移

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
総額	126,529円	100.0%	134,842円	100.0%	150,316円	100.0%	139,629円	100.0%	155,125円	100.0%
主要疾患	49,016円	38.7%	56,300円	41.8%	59,612円	39.7%	52,672円	37.7%	62,289円	40.2%

主要疾患	2021年度	5年平均伸び率
心疾患	10,324円	28.9%
脳血管疾患	402円	9.8%
高血圧症	7,312円	1.1%
糖尿病	7,286円	2.3%
脂質異常症	3,366円	2.8%
胃がん	566円	-4.2%
結腸・直腸がん	865円	-5.7%
肺がん	3,711円	32.7%
その他がん	10,407円	8.8%
メンタル系疾患	3,527円	-0.6%
妊娠・周産期	1,088円	-14.7%
乳がん・子宮がん	3,288円	19.2%
呼吸器系	10,145円	-1.2%

歯科	22,435円	3.2%
調剤	32,062円	5.9%



事業所別レポート （組合全体）

組合全体における健診結果のリスク該当者や従業員の生活習慣の状況をお示しています。
ご一読いただき、従業員の健康づくりにご活用ください。

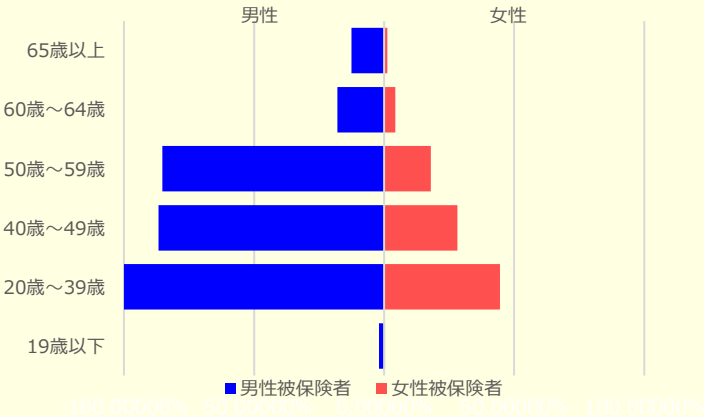
基本情報

組合全体

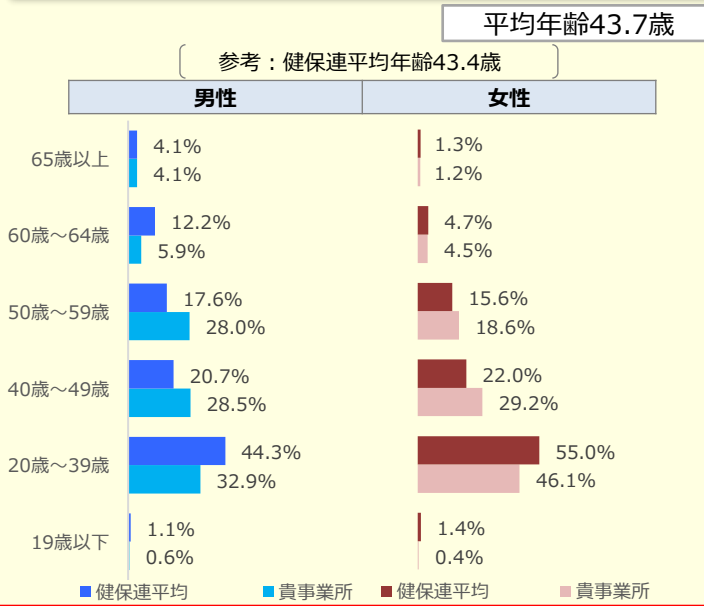
被保険者数

3,436人

被保険者の年齢構成



被保険者の年齢構成(対健保連平均)

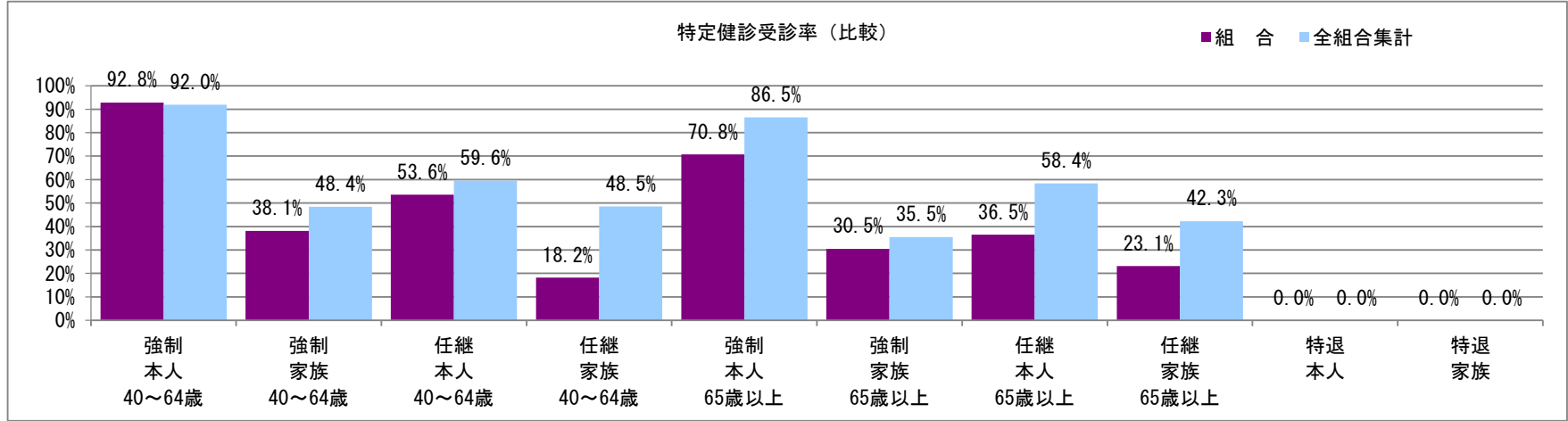


特定健診受診率 全体集計比較

大阪紙商健康保険組合
帳票作成日 令和06年03月18日

健診実施年度	比較対象					
令和04年	全組合計					
組 合	強 制			任 継		
40-44歳	84.1%	95.3%	42.4%	0.0%	0.0%	—
45-49歳	78.0%	93.0%	36.3%	0.0%	0.0%	—
50-54歳	77.2%	93.8%	33.6%	37.5%	50.0%	25.0%
55-59歳	78.2%	91.1%	37.1%	16.7%	0.0%	25.0%
60-64歳	77.4%	88.7%	48.2%	45.5%	68.4%	14.3%
65-69歳	68.0%	78.8%	38.6%	38.0%	53.3%	15.0%
70-74歳	44.7%	57.1%	20.7%	21.4%	13.6%	50.0%
75歳以上	—	—	—	—	—	—
40歳以上合計	77.3%	91.2%	37.4%	34.4%	42.5%	20.8%

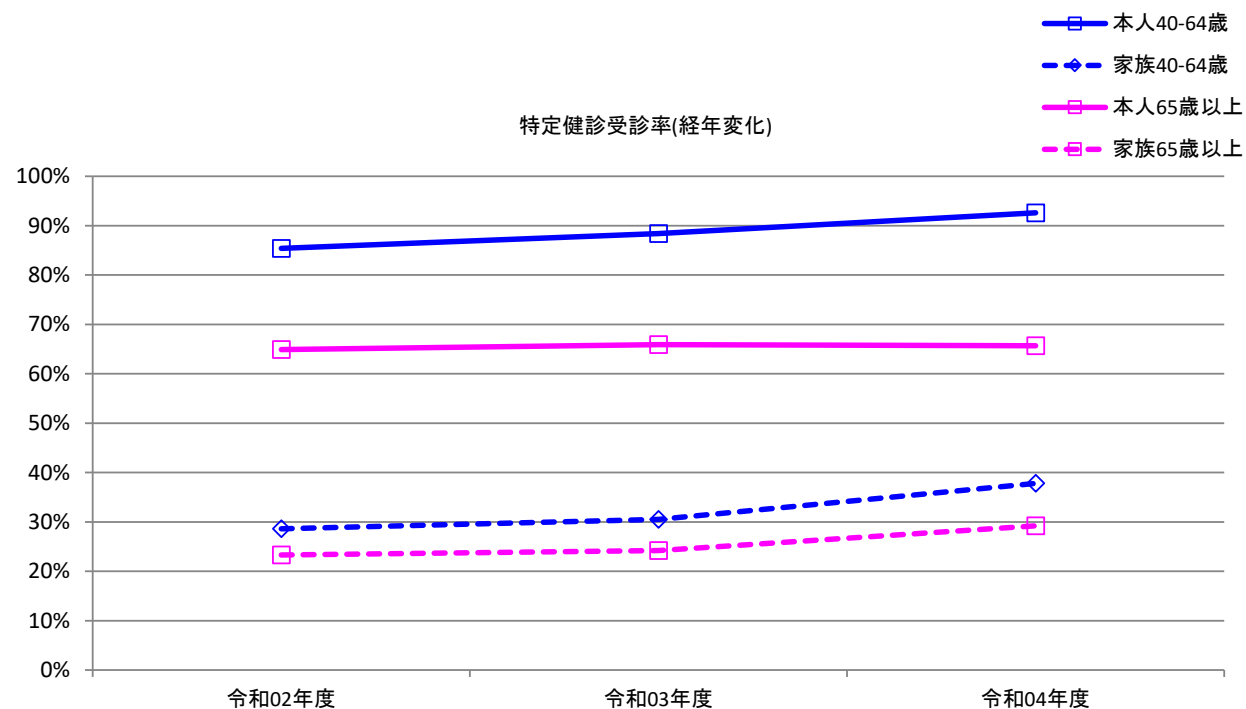
全組合集計	強 制			任 継		
40-44歳	81.7%	91.7%	45.7%	43.9%	50.4%	27.9%
45-49歳	82.3%	92.2%	48.2%	48.4%	52.1%	38.2%
50-54歳	82.4%	92.6%	49.6%	51.3%	54.5%	46.5%
55-59歳	82.1%	91.8%	50.1%	54.0%	59.7%	49.6%
60-64歳	81.3%	91.1%	47.4%	56.4%	61.8%	49.7%
65-69歳	74.8%	88.0%	39.1%	55.7%	59.4%	43.8%
70-74歳	59.8%	82.1%	30.0%	49.2%	53.8%	36.0%
75歳以上	—	—	—	—	—	—
40歳以上合計	81.4%	91.7%	47.4%	54.5%	58.9%	46.4%



特定健診受診率の経年変化（事業所別表）

健診実施年度	出力対象
令和 04年	事業所合計表(2, 3, 5等)

	令和02年度			令和03年度			令和04年度		
健診対象者情報作成日	令和3年10月25日			令和4年10月25日			令和5年10月17日		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
40-44歳	71.0%	86.8%	23.5%	74.9%	88.3%	31.7%	83.9%	95.1%	42.4%
45-49歳	70.9%	87.4%	27.7%	72.3%	89.9%	25.3%	77.9%	92.9%	36.3%
50-54歳	69.4%	85.2%	29.9%	73.0%	89.8%	30.0%	77.0%	93.6%	33.5%
55-59歳	71.9%	84.6%	35.1%	75.1%	88.3%	37.1%	77.8%	90.9%	36.9%
60-64歳	64.3%	78.7%	26.8%	68.9%	81.9%	31.8%	75.7%	87.8%	45.5%
65-69歳	54.6%	69.2%	23.4%	57.3%	73.6%	23.4%	63.1%	75.3%	33.3%
70-74歳	45.2%	56.9%	23.2%	42.8%	52.3%	25.4%	41.4%	50.0%	23.4%
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40歳以上合計	68.2%	83.6%	28.0%	71.1%	86.4%	29.8%	76.4%	90.3%	36.9%



継続受診率			
年齢区分	本人家族計	本人	家族
40-44歳	41.1%	49.0%	10.6%
45-49歳	65.0%	82.2%	16.6%
50-54歳	64.8%	81.0%	21.1%
55-59歳	64.6%	76.8%	25.1%
60-64歳	61.9%	74.6%	28.6%
65-69歳	50.7%	62.0%	21.5%
70-74歳	35.3%	43.8%	14.8%
75歳以上	—	—	—
40歳以上合計	58.8%	71.9%	20.0%
継続未受診率			
年齢区分	本人家族計	本人	家族
40-44歳	13.3%	3.3%	51.7%
45-49歳	16.6%	2.8%	55.9%
50-54歳	17.9%	2.9%	58.3%
55-59歳	17.1%	5.1%	55.9%
60-64歳	17.1%	5.2%	48.4%
65-69歳	27.5%	15.1%	59.5%
70-74歳	46.2%	34.6%	74.1%
75歳以上	—	—	—
40歳以上合計	18.1%	5.3%	56.0%

※継続受診率の定義

前々年度から当年度において特定健診を3度すべて受診した者の人数

前々年度から当年度の3年間継続して特定健診の対象者であった者の人数

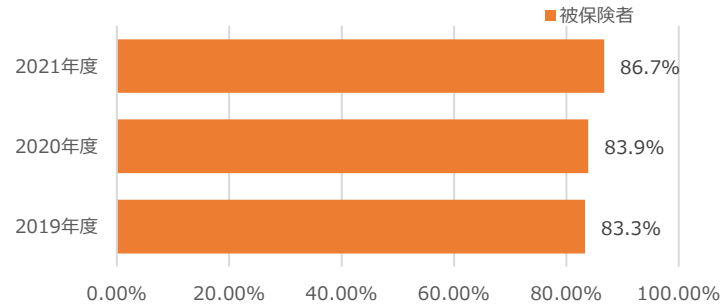
※継続未受診率の定義

前々年度から当年度において特定健診を一度も受診していない者の人数

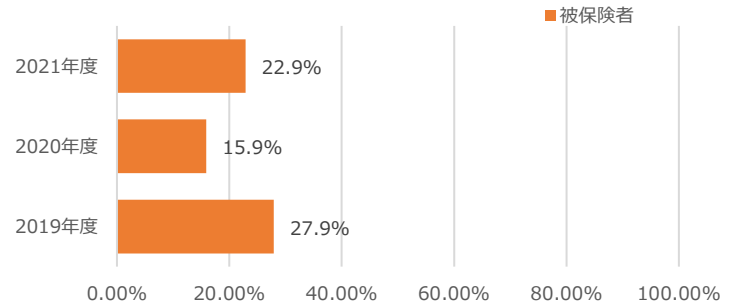
前々年度から当年度の3年間継続して特定健診の対象者であった者の人数

特定健診・特定保健指導の実施状況

【特定健診受診率の推移】



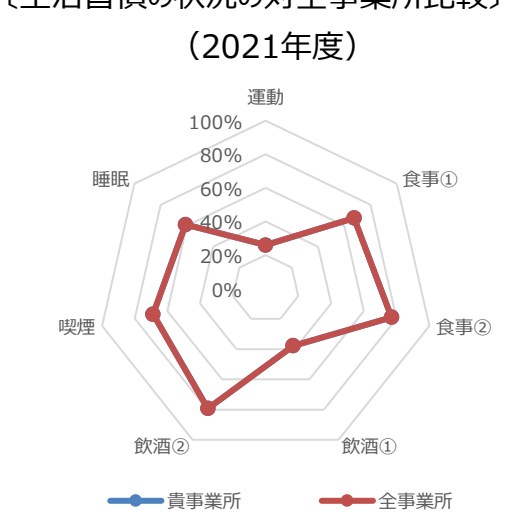
【特定保健指導実施率の推移】



	2019年度			2020年度			2021年度			
		ランキング		ランキング			ランキング			
特定健診受診率	83.3% (3,356人)	-		83.9% (3,459人)	-		86.7% (3,597人)	-		
特定保健指導実施率	27.9% (204人)	-		15.9% (125人)	-		22.9% (179人)	-		

生活習慣の状況

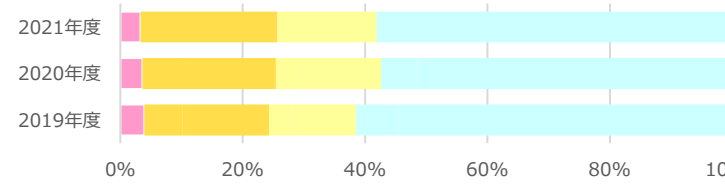
〔生活習慣の状況の対全事業所比較〕



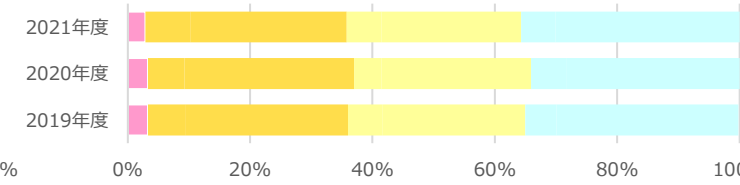
		2019年度	2020年度	2021年度	
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	22.5%	23.8%	25.9%	
食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回未満	62.0%	65.3%	67.4%	
食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	78.5%	77.4%	77.0%	
飲酒①	飲酒をほとんどしない	33.6%	35.5%	37.8%	
飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	76.8%	78.7%	79.3%	
喫煙	現時点で喫煙習慣がない	66.4%	68.3%	68.8%	
睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	56.6%	61.7%	61.0%	

健診結果のリスク該当者の状況

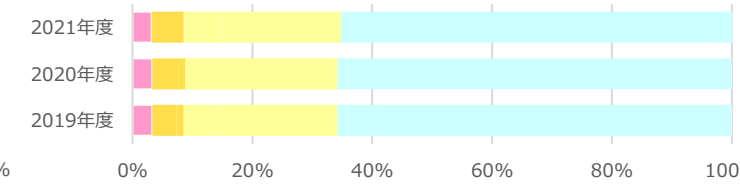
【血圧リスク分布の推移】



【脂質リスク分布の推移】



【血糖リスク分布の推移】



リスク	状態	血圧				脂質				血糖			
		【収縮期血圧】低 < 130mmHg ≤ 中 < 140mmHg ≤ 高 【拡張期血圧】低 < 85mmHg ≤ 中 < 90mmHg ≤ 高				【中性脂肪】低 < 150mg/dl ≤ 中 < 300mg/dl ≤ 高 【H D L】低 ≥ 40mg/dl > 中 ≥ 35mg/dl > 高 【L D L】低 < 120mg/dl ≤ 中 < 140mg/dl ≤ 高 【(non-H D L)】低 < 150mg/dl ≤ 中 < 170mg/dl ≤ 高				【空腹時・随時血糖】低 < 100mg/dl ≤ 中 < 126mg/dl ≤ 高 【HbA1c】低 < 5.6% ≤ 中 < 6.5% ≤ 高			
		組合全体				組合全体				組合全体			
		2019年度	2020年度	2021年度		2019年度	2020年度	2021年度		2019年度	2020年度	2021年度	
5	健診を受診しましょう (健診未受診・治療歴あり)	71人 3.9%	68人 3.6%	65人 3.3%		60人 3.3%	62人 3.3%	56人 2.9%		60人 3.3%	63人 3.3%	62人 3.2%	
4	重症化にご注意ください (リスク高・治療歴あり)	114人 6.3%	128人 6.8%	145人 7.4%		111人 6.1%	113人 6.0%	143人 7.3%		73人 4.0%	82人 4.3%	77人 3.9%	
	治療の必要がないか確認しましょう (リスク高・治療歴なし)	256人 14.1%	284人 15.0%	296人 15.0%		480人 26.6%	523人 27.7%	502人 25.6%		21人 1.2%	22人 1.2%	27人 1.4%	
3	治療による効果を意識しましょう (リスク中・治療歴あり)	66人 3.6%	75人 4.0%	65人 3.3%		102人 5.6%	85人 4.5%	112人 5.7%		116人 6.4%	103人 5.5%	127人 6.5%	
	生活習慣を改善しましょう (リスク中・治療歴なし)	192人 10.6%	249人 13.2%	254人 12.9%		423人 23.4%	461人 24.4%	446人 22.8%		348人 19.3%	375人 19.9%	388人 19.8%	
2	健診結果値の改善が見られます (リスク低・治療歴あり)	128人 7.0%	113人 6.0%	136人 6.9%		93人 5.1%	111人 5.9%	109人 5.6%		122人 6.8%	125人 6.6%	173人 8.8%	
1	健診結果値は良好です (リスク低・治療歴なし)	990人 54.5%	976人 51.6%	1,006人 51.1%		537人 29.7%	532人 28.2%	590人 30.1%	17	1,066人 59.0%	1,118人 59.2%	1,110人 56.5%	

内臓脂肪型肥満リスク者 BMI25以上 かつ 腹囲 男性:85cm以上/女性:90cm以上				
組合全体				
2019年度	2020年度	2021年度		
499人	528人	560人		
23.8%	24.8%	25.8%		

肝機能異常リスク者 AST31以上、またはALT31以上、またはγ-GT51以上				
組合全体				
2019年度	2020年度	2021年度		
634人	675人	708人		
30.2%	31.7%	32.6%		

(注) リスク基準値は第 3 期実施計画期間の値です。詳細は解説書をご参照ください。

特定健診 保健指導対象者の内訳

		出力対象		
		事業所合計表（2,3,5等）		
健診実施年度		事業所合計表		
令和 04年		当年度	前年度	増 減
特定保健指導	評価対象者数	4,321	4,074	-247
	特定保健指導の対象者数（小計）	829	817	-12
	特定保健指導の終了者数（小計）	181	181	0
	特定保健指導の終了者（小計）の割合（%）	21.8%	22.2%	0.4%
積極的支援	特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数	499	470	-29
	特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者の割合（%）	11.5%	11.5%	0.0%
	服薬中のため特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者から除外した者の数	449	421	-28
	服薬中のため特定保健指導（積極的支援）の対象者から除外した者の割合（%）	90.0%	89.6%	-0.4%
	特定保健指導（積極的支援）の利用者数	113	92	-21
	特定保健指導（動機付け支援相当）の利用者数	2	6	4
	特定保健指導（モデル実施）の利用者数	0	0	0
	特定保健指導（積極的支援レベル）の利用者の割合（%）	23.0%	20.9%	-2.1%
	特定保健指導（積極的支援）の終了者数	84	76	-8
	特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数	2	6	4
	特定保健指導（モデル実施）の終了者数	0	0	0
	特定保健指導（積極的支援レベル）の終了者の割合（%）	17.2%	17.4%	0.2%
動機付け支援	特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者数	330	347	17
	特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者の割合（%）	7.6%	8.5%	0.9%
	服薬中のため特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者から除外した者の数	196	174	-22
	服薬中のため特定保健指導（動機付け支援）の対象者から除外した者の割合（%）	59.4%	50.1%	-9.3%
	特定保健指導（動機付け支援）の利用者数	95	99	4
	特定保健指導（動機付け支援レベル）の利用者の割合（%）	28.8%	28.5%	-0.3%
	特定保健指導（動機付け支援）の終了者数	95	99	4
	特定保健指導（動機付け支援）の終了者の割合（%）	28.8%	28.5%	-0.3%

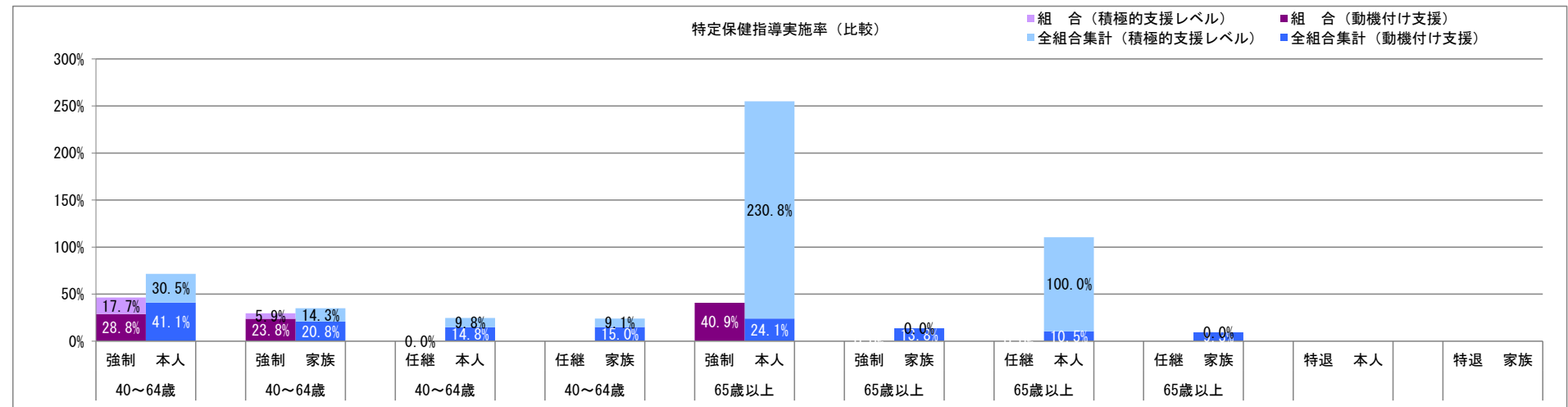
特定保健指導実施率 全体集計比較

大阪紙商健康保険組合
帳票作成日 令和06年03月18日

健診実施年度	比較対象	
令和04年	全組合計	

組合	強 制						任 継					
	積極的支援レベル			動機付け支援			積極的支援レベル			動機付け支援		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
40～44歳	15.3%	15.8%	0.0%	30.4%	31.7%	16.7%	—	—	—	—	—	—
45～49歳	17.1%	17.3%	0.0%	30.9%	29.5%	66.7%	—	—	—	—	—	—
50～54歳	17.1%	17.2%	16.7%	31.6%	31.2%	40.0%	—	—	—	—	—	—
55～59歳	18.2%	19.2%	0.0%	10.8%	12.1%	0.0%	—	—	—	—	—	—
60～64歳	21.7%	22.7%	0.0%	29.4%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—
65～69歳	—	—	—	52.9%	60.0%	0.0%	—	—	—	0.0%	0.0%	—
70～74歳	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—	—	—
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	17.3%	17.7%	5.9%	29.1%	29.7%	20.8%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	—

全組合集計	強 制						任 継					
	積極的支援レベル			動機付け支援			積極的支援レベル			動機付け支援		
年齢区分	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族	本人家族計	本人	家族
40～44歳	31.0%	31.3%	14.6%	40.2%	41.6%	21.3%	14.6%	13.8%	21.7%	9.9%	10.1%	8.3%
45～49歳	30.4%	30.8%	14.7%	39.4%	41.2%	21.1%	3.1%	3.4%	0.0%	11.1%	11.2%	10.3%
50～54歳	30.0%	30.6%	14.4%	39.4%	41.5%	21.3%	7.0%	7.4%	4.5%	14.7%	15.5%	12.6%
55～59歳	30.0%	30.7%	14.5%	39.4%	41.5%	20.8%	9.9%	9.8%	10.2%	15.3%	13.4%	17.9%
60～64歳	27.1%	27.8%	12.7%	35.4%	37.4%	17.6%	10.2%	10.4%	9.0%	15.6%	16.0%	14.6%
65～69歳	210.7%	236.0%	0.0%	23.9%	24.7%	14.8%	83.3%	100.0%	0.0%	10.9%	10.9%	10.3%
70～74歳	33.3%	100.0%	0.0%	20.4%	21.9%	11.7%	—	—	—	8.0%	8.4%	4.6%
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	30.0%	30.5%	14.3%	38.1%	39.9%	20.2%	9.7%	9.9%	9.1%	11.9%	11.7%	12.8%

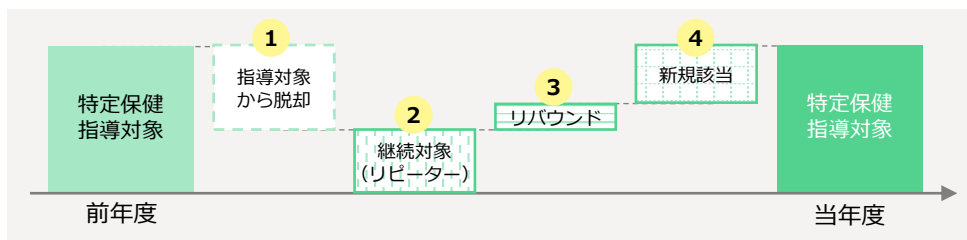




現状分析

特定保健指導の実施状況

＜特定保健指導対象の考え方＞



保険者共通の評価指標

アウトプット指標

アウトカム指標

【特定保健指導実施状況】

	2019年度	2020年度	2021年度
健診受診者数	3,944人	3,913人	4,074人
指導対象者数	788人	861人	855人
対象者割合	20.0%	22.0%	21.0%
実施者数	231人	142人	195人
実施率	29.3%	16.5%	22.8%
実施率 (健保平均)	27.4%	27.0%	31.1%

【1 指導対象からの脱却状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
脱却者数	306人	264人	320人
改善脱却	178人	131人	152人
脱却率	58.2%	49.6%	47.5%
服薬治療	57人	38人	62人
その他	71人	95人	106人

【2 継続対象者（リピーター）の状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
1年で改善脱却	114人	80人	94人
継続対象者数	519人	524人	541人
2年継続	146人	129人	180人
3年継続	-	98人	76人
4年継続	-	-	61人
5年以上継続	-	-	215人

【3 リバウンド状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
リバウンド者数	38人	105人	73人
1年後にリバウンド	38人	88人	42人
2年後にリバウンド	-	17人	19人
3年後にリバウンド	-	-	12人

【4 指導対象への新規該当状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
新規該当者数	214人	207人	206人
40歳到達同時	29人	27人	31人
40歳到達済	185人	180人	175人

	BMI/腹囲	血圧/脂質/血糖
35-39歳における基準抵触状況	-	-



現状分析

医療費（2021年度）

レセプトより、合計・入院・入院外における、医療費、受診率、日数を集計した表になります。
ハイライトの箇所は、前年度と比較して、医療費、受診率、日数が高い箇所を示しています。

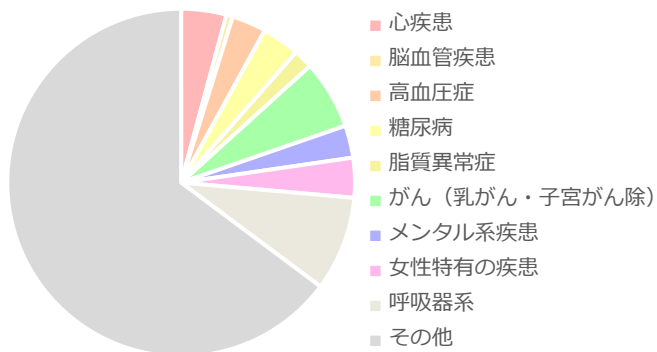
		合計				入院				入院外			
		1人あたり 医療費	受診率 (千人あたり)	1件あたり 日数	1日あたり 医療費	1人あたり 医療費	受診率 (千人あたり)	1件あたり 日数	1日あたり 医療費	1人あたり 医療費	受診率 (千人あたり)	1件あたり 日数	1日あたり 医療費
総合計		158,367円	10,706.3件	1.4日	10,683円	35,480円	63.7件	8.1日	68,893円	122,887円	10,642.7件	1.3日	8,588円
全年齢・ 疾患別	高血圧症・ 脂質異常症・糖尿病	13,454円	1,324.1件	-	-	615円	19.3件	-	-	12,839円	1,304.8件	-	-
	悪性新生物	13,809円	308.9件	-	-	4,042円	11.9件	-	-	9,767円	297.1件	-	-
	心疾患・脳血管疾患 (循環器)	7,640円	382.4件	-	-	5,017円	10.5件	-	-	2,623円	371.9件	-	-
	歯科疾患	22,609円	1,802.7件	1.5日	8,121円	359円	1.4件	3.3日	79,337円	22,250円	1,801.3件	1.5日	8,005円
年代別	40歳未満	112,514円	8,967.9件	1.4日	9,256円	19,687円	49.1件	6.4日	62,841円	92,827円	8,918.9件	1.3日	7,838円
	40～59歳	173,855円	10,928.3件	1.4日	11,407円	42,342円	64.1件	8.6日	76,960円	131,514円	10,864.2件	1.4日	8,952円
	60歳以上	322,637円	18,437.1件	1.4日	12,235円	85,773円	134.5件	10.2日	62,459円	236,864円	18,302.6件	1.4日	9,476円
健保平均（2021年度）		158,600円	11,183.1件	1.4日	10,351円	36,111円	70.4件	6.0日	67,926円	122,490円	11,112.7件	1.4日	8,083円



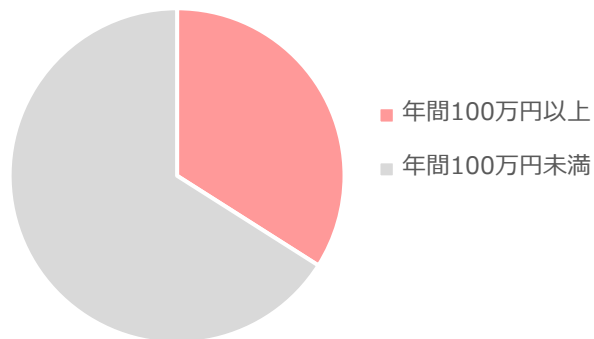
現状分析

医療費の構成要素（2021年度）

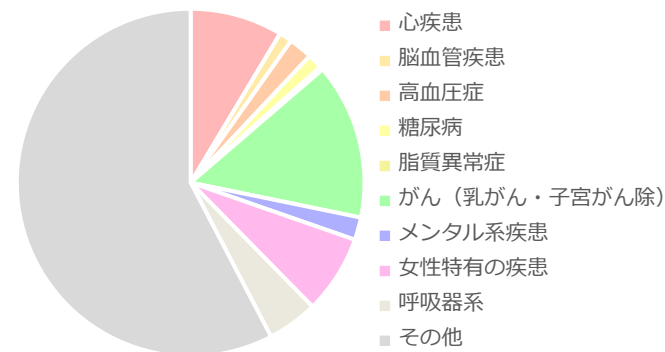
【医療費の構成割合】



【年間100万円以上の医療費割合】



【年間100万円以上の構成割合】



主要疾患等	医療費	割合
心疾患	78百万円	4.2%
脳血管疾患	11百万円	0.6%
高血圧症	59百万円	3.2%
糖尿病	64百万円	3.5%
脂質異常症	34百万円	1.8%
胃がん	13百万円	0.7%
大腸がん	18百万円	1.0%
肺がん	17百万円	0.9%
その他がん	70百万円	3.8%
メンタル系疾患	56百万円	3.0%
妊娠・周産期	25百万円	1.3%
乳がん・子宮がん	43百万円	2.3%
呼吸器系	163百万円	8.8%
その他	1,200百万円	64.8%

歯科	265百万円	14.3%
調剤	376百万円	20.3%

	医療費合計	割合
年間100万円以上	630百万円	34.0%
年間100万円未満	1,223百万円	66.0%

主要疾患等	医療費	割合
心疾患	54百万円	8.6%
脳血管疾患	8百万円	1.2%
高血圧症	14百万円	2.2%
糖尿病	9百万円	1.4%
脂質異常症	2百万円	0.3%
胃がん	8百万円	1.2%
大腸がん	13百万円	2.1%
肺がん	15百万円	2.5%
その他がん	55百万円	8.8%
メンタル系疾患	13百万円	2.1%
妊娠・周産期	8百万円	1.3%
乳がん・子宮がん	38百万円	6.0%
呼吸器系	30百万円	4.7%
その他	363百万円	57.6%

歯科	8百万円	1.2%
調剤	106百万円	16.9%

将来医療費予測

現状

医療費合計

2021年度

1,853百万円

予測結果

医療費合計

増加率

2024年度

1,999百万円

+7.9%

○予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデル*を用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果・レセプトデータをもとに、3年後の総医療費を予測したものです。
*当予測と、本レポートP.6の各リスクの将来予測の予測手法は異なります。
なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
○予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。



現状分析

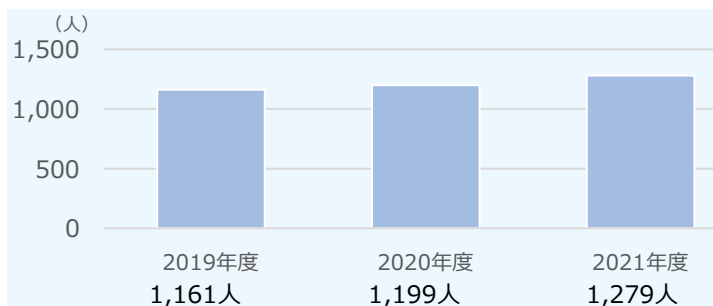
高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測

お預かりした健診データに基づく、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触すると予測される加入者数は以下のとおりです。
今後3年以内の高血圧症・脂質異常症・糖尿病リスクの高い加入者を確認することで、将来リスクの大きさを把握いただけます。

【実績値】 ※1

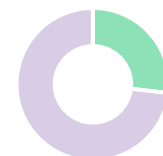
【予測値】 ※1

高血圧症 リスク者



2024年度
1,416人

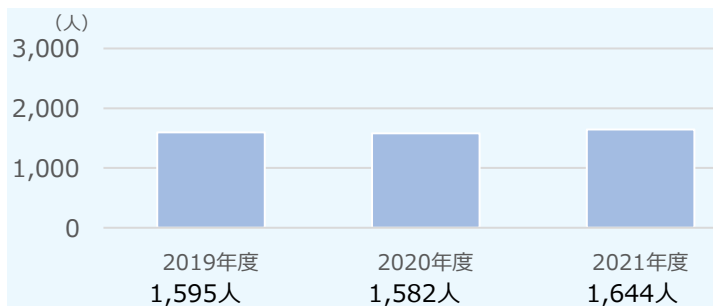
予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	380人
40歳以上・特定保健指導対象外	1,036人
40歳未満	0人

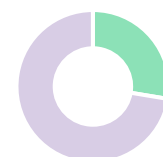
予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

脂質異常症 リスク者



2024年度
1,981人

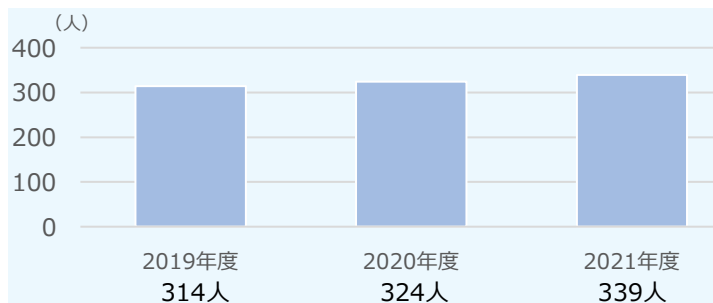
予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	547人
40歳以上・特定保健指導対象外	1,434人
40歳未満	0人

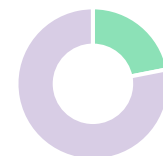
予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

糖尿病 リスク者



2024年度
374人

予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	82人
40歳以上・特定保健指導対象外	292人
40歳未満	0人

予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

※1 ご留意
いただきたい点

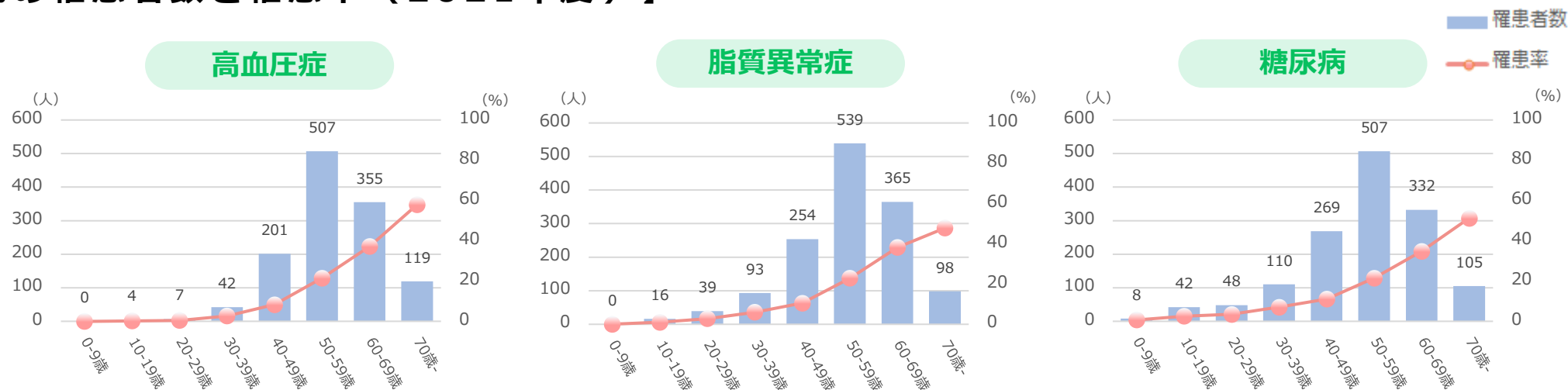
- 実績値は、各年度において、血圧・脂質・血糖が基準値に抵触、あるいは、血圧・脂質・血糖に関する薬を服薬中の加入者数を合計したものです。
- 予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデルを用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果データをもとに、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触する人数を予測したものです。具体的には、上記の実績値と、実績値年度から3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触（血圧と脂質については3年以内に2年連続で基準値に抵触）すると予測される加入者数を合計しています。
- なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
- 加入者の健康状態に対して、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
- リスク予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。



現状分析

主要疾患分析（高血圧・脂質異常症・糖尿病）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2021年度）】



【リスク分析】

	2019年度	2020年度	2021年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	778人 13.1%	822人 13.8%	866人 14.6%	20.1%
リスク中	579人 9.8%	686人 11.5%	686人 11.6%	17.0%
リスク低	2,586人 43.6%	2,404人 40.2%	2,521人 42.5%	63.0%
健診未受診 ・ 治療歴あり	393人 6.6%	414人 6.9%	387人 6.5%	-

	2019年度	2020年度	2021年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	1,318人 22.2%	1,306人 21.9%	1,338人 22.6%	34.2%
リスク中	1,113人 18.7%	1,154人 19.3%	1,175人 19.8%	29.8%
リスク低	1,513人 25.5%	1,453人 24.3%	1,560人 26.3%	36.0%
健診未受診 ・ 治療歴あり	401人 6.8%	430人 7.2%	405人 6.8%	-

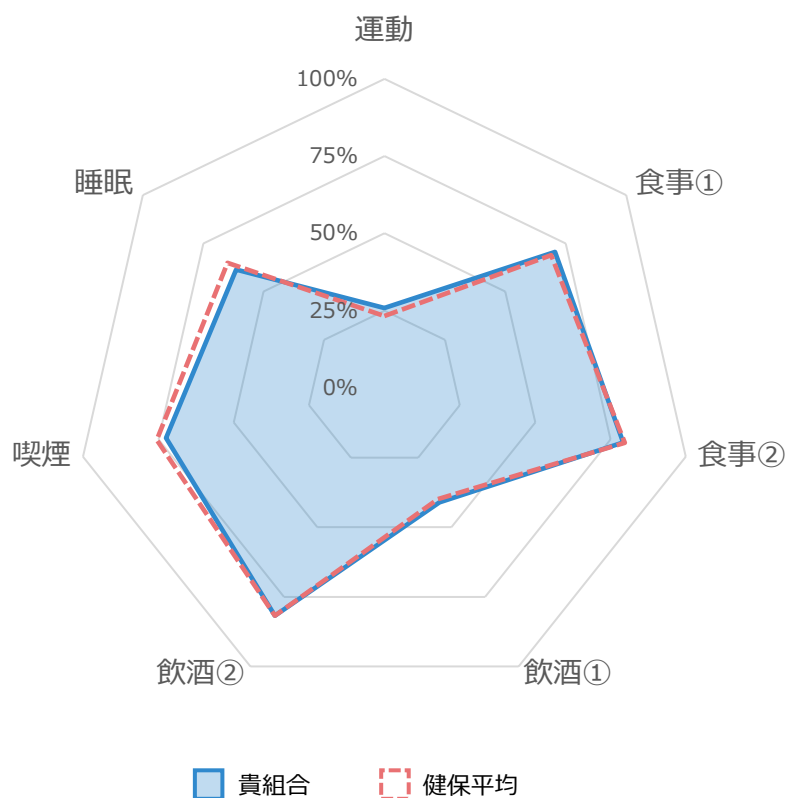
	2019年度	2020年度	2021年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	216人 3.6%	231人 3.9%	239人 4.0%	5.6%
リスク中	1,003人 16.9%	948人 15.9%	1,018人 17.2%	27.7%
リスク低	2,725人 45.9%	2,734人 45.8%	2,816人 47.5%	66.7%
健診未受診 ・ 治療歴あり	407人 6.9%	432人 7.2%	416人 7.0%	-



現状分析

生活習慣分析

【質問票の状況（2021年度）】



※レーダーチャートの図形は大きいほど良い状態

		2019年度	2020年度	2021年度	健保平均 (2020年度)
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	24.2%	24.0%	25.9%	23.3%
食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回未満	67.0%	69.6%	70.5%	68.9%
食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	80.6%	79.9%	79.2%	79.7%
飲酒①	飲酒をほとんどしない	37.3%	38.9%	41.0%	39.9%
飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	79.0%	80.1%	81.7%	81.7%
喫煙	現時点で喫煙習慣がない	71.8%	72.4%	72.5%	75.5%
睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	58.4%	62.4%	61.4%	64.9%

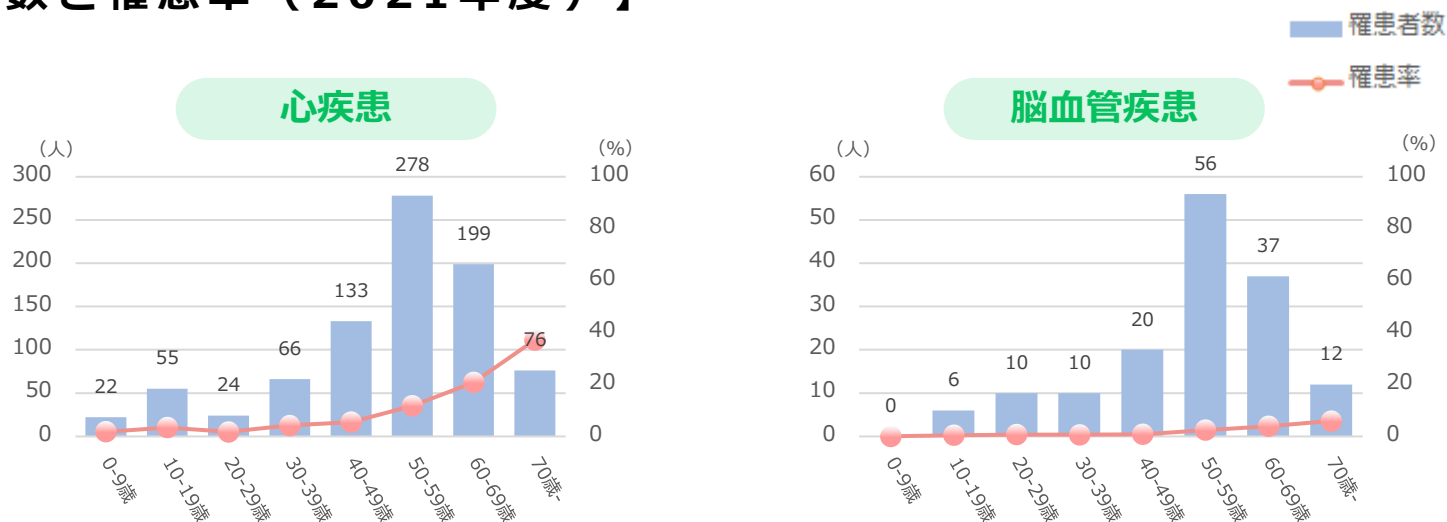
※ 健保平均より数値が小さい場合にハイライトしています



現状分析

主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患〔循環器〕）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2021年度）】



【リスク分析】

	2019年度	2020年度	2021年度
高血圧症 のリスク高	778人 13.1%	822人 13.8%	866人 14.6%
脂質異常症 のリスク高	1,318人 22.2%	1,306人 21.9%	1,338人 22.6%
糖尿病 のリスク高	216人 3.6%	231人 3.9%	239人 4.0%
喫煙	1,112人 18.7%	1,080人 18.1%	1,119人 18.9%
上記4項目 全てに該当	5人 0.1%	10人 0.2%	18人 0.3%

「健康日本21（第2次）」（厚生労働省）によると、脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患は、がんと並んで日本人の主要死因の大きな一角を占めており、循環器疾患の予防は基本的には危険因子の管理で、確立した危険因子としては、高血圧・脂質異常症・喫煙・糖尿病の4つ、とあります。

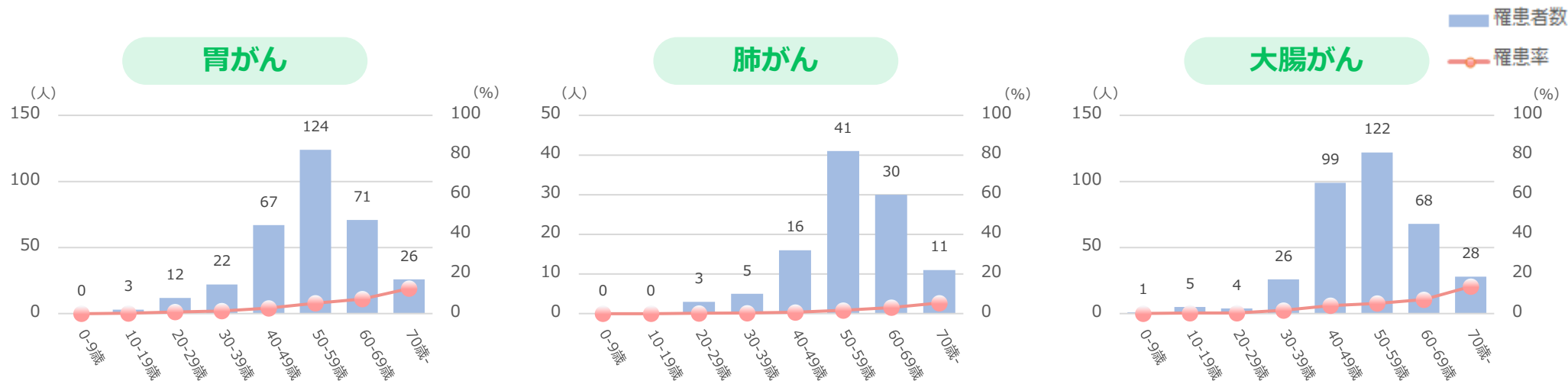
「健康日本21（第2次）」では各因子について目標を定めていますが、ここでは、高血圧症・脂質異常症・糖尿病におけるリスクの状況、及び喫煙の状況について左記表のとおり集計しています。



現状分析

主要疾患分析（悪性新生物）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2021年度）】



【がん検診の状況】

	2019年度	2020年度	2021年度
検診受診率	-	-	-
	-	-	-
要精密検査該当率	-	-	-
	-	-	-

	2019年度	2020年度	2021年度
検診受診率	-	-	-
	-	-	-
要精密検査該当率	-	-	-
	-	-	-

	2019年度	2020年度	2021年度
検診受診率	-	-	-
	-	-	-
要精密検査該当率	-	-	-
	-	-	-

※「市町村のがん検診の項目について」（厚生労働省）に定める対象年齢、受診期間に基づき分母を設定し、検診受診率を算出しています。

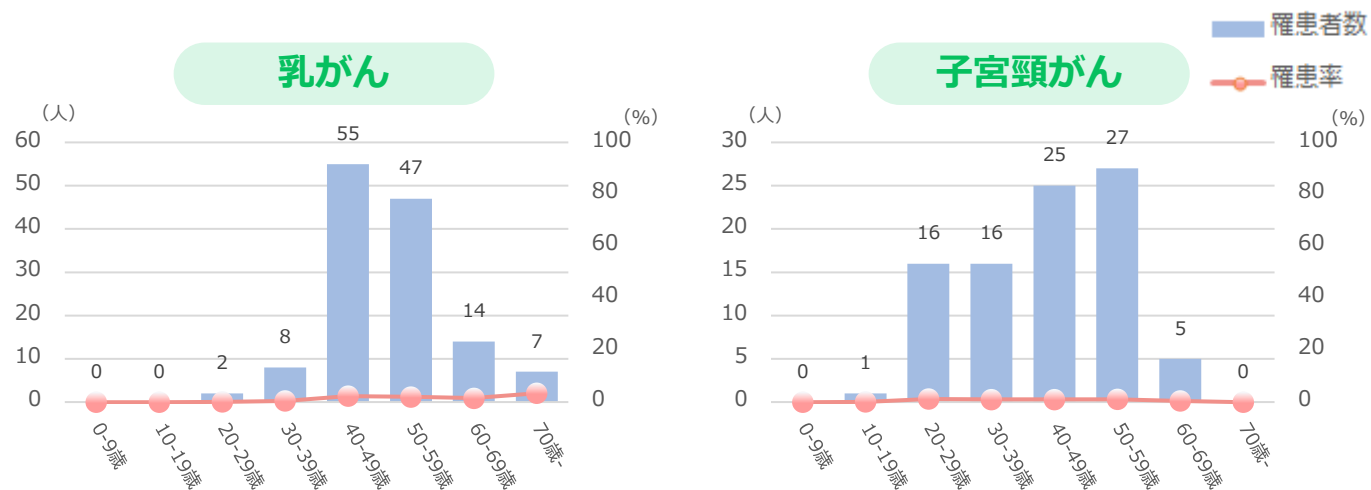
（例）胃がんの場合、対象年齢は50歳以上、受診期間は2年に1回のため、50歳以上の半数を分母に検診受診率を算出



現状分析

主要疾患分析（悪性新生物）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2021年度）】



＜指針で定めるがん検診の内容＞

厚生労働省においては、「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月1日付け健発第0331058号厚生労働省健康局長通知別添）を定め市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 (※1)	2年に1回 (※2)
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回

(※1) 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施
(※2) 当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施

厚生労働省「市町村のがん検診の項目について」より参照

【がん検診の状況】

	2019年度	2020年度	2021年度
検診受診率	-	-	-
要精密検査該当率	-	-	-

※「市町村のがん検診の項目について」（厚生労働省）に定める対象年齢、受診期間に基づき分母を設定し、検診受診率を算出しています。

(例) 乳がんの場合、対象年齢は40歳以上、受診期間は2年に1回のため、女性・40歳以上の半数を分母に検診受診率を算出

調剤医療費と後発医薬品使用率 全体集計比較

大阪紙商健康保険組合
帳票作成日 令和06年03月18日

診療年月	出力対象		比較対象	
令和 05年03月		強制	全組合計	

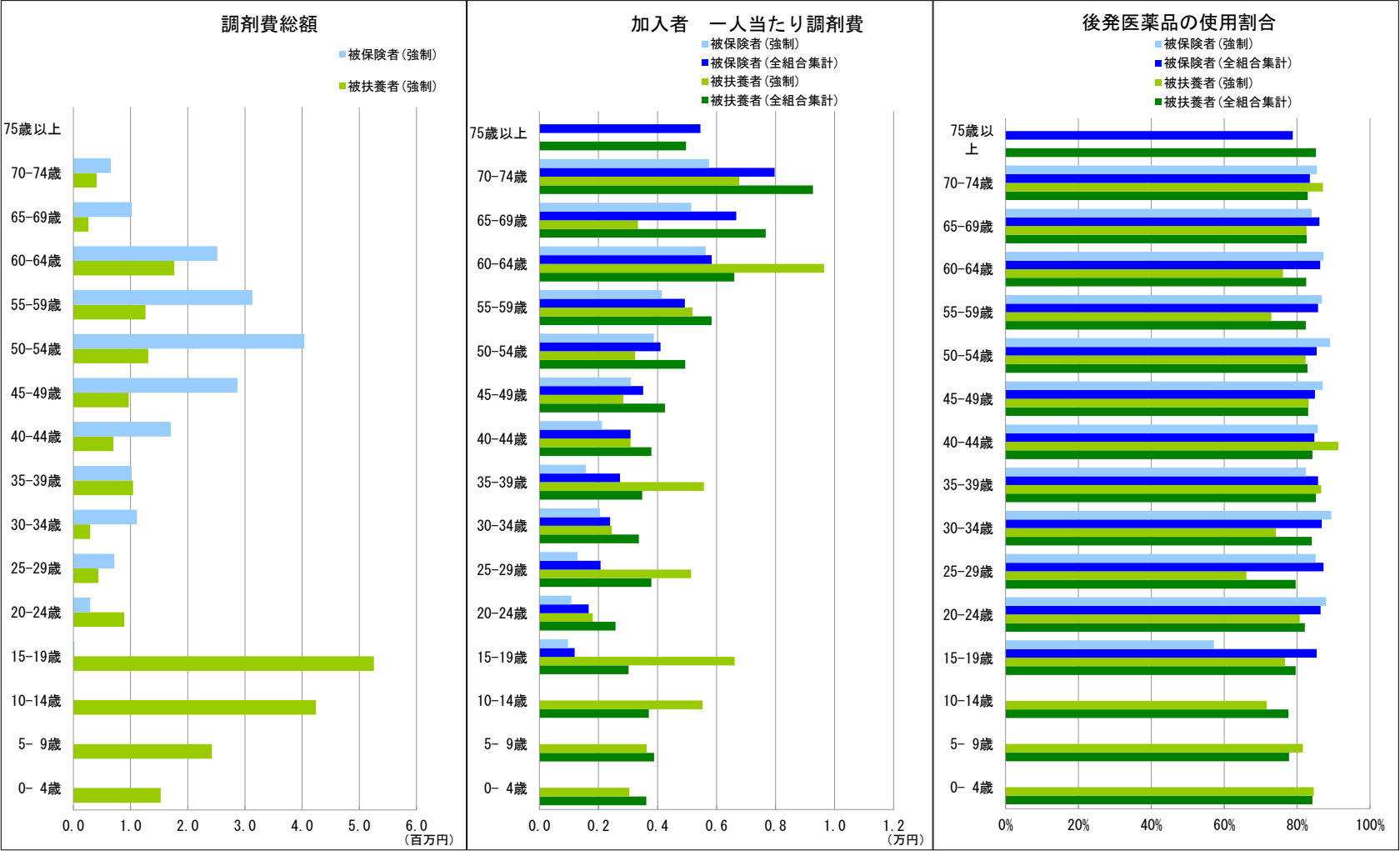
調 剤 費	全 組 合 集 計								
	合 計			被保険者			被扶養者		
	件数	調剤費 総額	加入者 1人当たり 調剤費	件数	調剤費 総額	加入者 1人当たり 調剤費	件数	調剤費 総額	加入者 1人当たり 調剤費
0- 4歳	318	1,526,670	3,047	—	—	—	318	1,526,670	3,047
5- 9歳	351	2,420,680	3,635	—	—	—	351	2,420,680	3,635
10-14歳	325	4,239,950	5,528	—	—	—	325	4,239,950	5,528
15-19歳	264	5,272,050	6,485	2	18,380	967	262	5,253,670	6,617
20-24歳	179	1,184,730	1,551	44	293,540	1,083	135	891,190	1,808
25-29歳	157	1,152,250	1,800	115	715,430	1,289	42	436,820	5,139
30-34歳	180	1,404,440	2,125	137	1,110,250	2,052	43	294,190	2,452
35-39歳	244	2,062,780	2,467	163	1,020,140	1,572	81	1,042,640	5,576
40-44歳	319	2,404,640	2,330	222	1,704,110	2,117	97	700,530	3,086
45-49歳	395	3,840,070	3,026	271	2,871,550	3,094	124	968,520	2,840
50-54歳	515	5,347,970	3,704	349	4,039,480	3,880	166	1,308,490	3,247
55-59歳	405	4,391,410	4,396	306	3,131,040	4,142	99	1,260,370	5,187
60-64歳	321	4,281,810	6,797	217	2,517,660	5,632	104	1,764,150	9,640
65-69歳	155	1,287,600	4,632	112	1,023,900	5,145	43	263,700	3,338
70-74歳	114	1,061,260	6,099	77	655,050	5,746	37	406,210	6,770
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	4,242	41,878,310	3,650	2,015	19,100,530	3,020	2,227	22,777,780	4,424

後発医薬品の使用割合	全 組 合 集 計								
	合 計			被保険者			被扶養者		
	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合
0- 4歳	245	84.58%	57.08%	—	—	—	245	84.58%	57.08%
5- 9歳	289	81.57%	30.04%	—	—	—	289	81.57%	30.04%
10-14歳	242	71.71%	32.35%	—	—	—	242	71.71%	32.35%
15-19歳	199	76.53%	39.04%	2	57.14%	47.62%	197	76.65%	39.03%
20-24歳	130	81.77%	68.69%	32	88.00%	80.46%	98	80.75%	66.41%
25-29歳	127	78.73%	55.82%	95	85.10%	54.11%	32	66.06%	59.36%
30-34歳	138	85.32%	66.24%	111	89.37%	75.84%	27	74.21%	44.21%
35-39歳	189	83.95%	55.54%	127	82.38%	58.60%	62	86.61%	51.47%
40-44歳	252	87.52%	62.39%	178	85.71%	59.87%	74	91.29%	68.00%
45-49歳	302	85.84%	63.10%	216	87.03%	66.13%	86	83.21%	56.90%
50-54歳	394	87.02%	36.24%	274	89.07%	31.29%	120	82.32%	62.58%
55-59歳	325	83.30%	62.73%	249	86.81%	69.44%	76	72.93%	43.82%
60-64歳	265	84.18%	64.32%	185	87.23%	67.57%	80	76.15%	57.49%
65-69歳	128	83.73%	66.01%	96	83.98%	66.36%	32	82.60%	64.80%
70-74歳	94	86.01%	63.27%	61	85.42%	52.81%	33	87.06%	81.01%
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	3,319	83.34%	51.28%	1,626	86.73%	55.64%	1,693	79.84%	46.47%

調剤医療費と後発医薬品使用率 全体集計比較

大阪紙商健康保険組合
帳票作成日 令和06年03月18日

診療年月	出力対象		比較対象	
令和 05年03月		強制	全組合計	



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ	被保険者・被扶養者ともに、特定健診受診率が全組合の平均より低い 被扶養者は大幅に低いため、健診データが少なく健康リスクを可視化できない	➡	・被保険者の受診率の向上について、全事業主へ健診データの提出を促す必要がある ・被扶養者へは、受診券を確実に手元に届け、健診の重要性を訴える ・年度途中に受診勧奨の督促を行う ・パート先で受診した場合のデータの収集率を上げる	✓
2	エ，オ	特定保健指導実施率が低迷	➡	・健康意識の高い健診当日の初回面接が可能な環境を整える ・受けたいような内容になるよう工夫する （実施内容および事業者の選定） ・事業主の理解が必要なため、推進委員から意識付ける	✓
3	カ，キ，サ	がんの医療費が上位を占める	➡	・各種がん検診の受診者の増加	
4	カ，キ，ク	生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額	➡	・高血圧、糖尿病、脂質異常症のリスク者に対する対応	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	1. 事業所数が189ある総合健保組合で、被保険者数が50人未満の事業所が160ある。 2. 健保組合所在地（大阪府）にある事業所は90%（170事業所）。 3. 男女の比率は、男性が73%、女性が27%と男性が多い。 4. 平均年齢は男女ともに40歳を超えている。 被扶養者の平均年齢は、男性13.2歳、女性32.9歳。 （内40歳以上の割合 男性 1.0% 女性45.3%） 5. 産業医他医療職のいる事業所が少ない。	➡	・産業医他医療職のいない事業所の従業員の健診フォロー ・大阪府下の事業所は保健師が対応できるが、他府県の事業所への対応をどうするか

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

1 1. 相対的に健診受診率 R3受診率 71.1%（総合組合平均 76.9%・全健保組合平均80.5%） 2. 保健指導実施率 R3実施率 22.2%（総合平均17.0%・全健保平均31.1%） 1 保健指導を受け、終了しているにもかかわらず毎年指導対象になる リピーターが多い 3. 重症化予防事業 指導拒否やアンケートへの未回答者が8割近くある 4. 健康宣言をしている事業所が少ない＝健康経営に取り組んでいる事業所が少ない	➡	1. 健診受診率の向上 2. 保健指導実施率の向上 リピーター対策（効果のある保健指導） 3. 未対応者の削減 4. 健康経営の周知・宣伝など
--	---	--

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 ・健診受診率の向上 ・効果ある保健指導 ・生活習慣病予防および悪化への介入	事業全体の目標 ・受診率の引き上げ ・保健指導対象者のリピーターの減少 ・未介入者の減少
--	---

事業の一覧	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝	健康経営支援事業
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進活動
保健指導宣伝	医療費通知
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	特定保健指導（RIZAP）
保健指導宣伝	メンタルヘルスカウンセリング
保健指導宣伝	前期高齢者サポート事業
保健指導宣伝	総合リスク者重症化予防
保健指導宣伝	市販薬斡旋事業
保健指導宣伝	すこやか健保の配布
保健指導宣伝	育児書の贈呈
保健指導宣伝	「社会保険の事務手続き」配布
保健指導宣伝	禁煙対策事業
保健指導宣伝	健康管理啓発のパンフレット配布
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	一般定期健診
疾病予防	子宮がん検診
疾病予防	乳がん検診
疾病予防	腫瘍マーカー検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	ファミリー歯科健診
疾病予防	ピロリ菌検査
疾病予防	線中がん検査
体育奨励	ボウリング大会
体育奨励	テニス大会
体育奨励	ウォーキングポイントプログラム
その他	JTB契約保養所
その他	亀の井ホテル利用補助金
その他	HPDコーポレーション利用補助金

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
保健指導 宣伝	1,5	既存	健康管理事業 推進委員会	一部の 事業所	男女	18 ～ （上 限 なし）	被保険 者	3	キ,ス	5月と12月に開催	ア,シ	推進委員8名＋事務局3名	120	-	-	-	-	-	健康教室や各種保健事業についての効果的 な企画・立案。 実施結果の分析・評価を行う。	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													年2回実施 保健事業の企画・立案・ 分析・評価	継続	継続	継続	継続	継続		
	会議の開催回数(【実績値】2回　【目標値】令和6年度：2回　令和7年度：2回　令和8年度：2回　令和9年度：2回　令和10年度：2回　令和11年度：2回)-												評価不能 (アウトカムは設定されていません)							
	1,2,5	既存	健康管理委員 会	全て	男女	18 ～ （上 限 なし）	基準該 当者	1	ク,ケ,サ,ス	年2回（8月と10月）に 健康教室を開催 対象：8月は事業主およ び担当者 10月は健康管理委 員	サ	外部から講師を招聘し、 講義を開催	650	-	-	-	-	-	参加者数を増やし、健康意識を向上させる	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													8月：女性の健康に基づい たテーマでセミナーを実 施する 10月：未定	継続	継続	継続	継続	継続		
参加者数の増加(【実績値】32人　【目標値】令和6年度：35人　令和7年度：35人　令和8年度：35人　令和9年度：35人　令和10年度：35人　令和11年度：35人) 1回の参加数												評価不能 (アウトカムは設定されていません)								
1	既存	健康経営支援 事業	一部の 事業所	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	ス	健康セミナー・健診後の アフターフォロー、保健 指導など、健康宣言～健 康経営を目指す事業所の サポートを行う。 「健康宣言事業」につい ても広報・周知を図る。	ア	-	-	3,000	-	-	-	-	-	事業主および従業員の健康意識を向上させ 、健康経営に取り組む事業所を増やす	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													「健康宣言事業」の広報 ・周知 健康経営を目指す事業所 のサポート	継続	継続	継続	継続	継続		
健康宣言をする事業所の増加(【実績値】6社　【目標値】令和6年度：6社　令和7年度：7社　令和8年度：8社　令和9年度：9社　令和10年度：10社　令和11年度：11社)-												健康経営優良法人認定事業所数の増加(【実績値】4社　【目標値】令和6年度：5社　令和7年度：6社　令和8年度：7社　令和9年度：8社　令和10年度：9社　令和11年度：10社)-								
加入者への意識づけ																				
保健指導 宣伝	2,5,7	既存	機関紙	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ス	被保険者1人に1部ずつ 、事業所を通じて配布	シ	-	2,100	-	-	-	-	-	情報発信・健康意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													年3回発行 タイムリーな情報発信	継続	継続	継続	継続	継続		
	年間発行回数(【実績値】3回　【目標値】令和6年度：3回　令和7年度：3回　令和8年度：3回　令和9年度：3回　令和10年度：3回　令和11年度：3回)-												評価不能 (アウトカムは設定されていません)							
	2,5,7	既存	ホームページ	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	随時更新	シ	-	500	-	-	-	-	-	情報発信・健康意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													タイムリーな情報発信	継続	継続	継続	継続	継続		
月間アクセス回数(【実績値】1,673回　【目標値】令和6年度：1,700回　令和7年度：1,750回　令和8年度：1,800回　令和9年度：1,850回　令和10年度：1,900回　令和11年度：1,950回)月間平均アクセス数												評価不能 (アウトカムは設定されていません)								
7	既存	ジェネリック 医薬品促進活 動	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	・年1回、医療費通知の 裏面に印刷して配布 ・ジェネリック切替カー ドを配布	シ	-	外部委託	647	-	-	-	-	-	ジェネリック医薬品の普及による薬剤費の 削減	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													年1回 医療費通知の裏面に印刷 して配布 ジェネリック切替カード を配布	継続	継続	継続	継続	継続		
実施回数(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：1回　令和7年度：1回　令和8年度：1回　令和9年度：1回　令和10年度：1回　令和11年度：1回)-												使用割合(【実績値】79.9％　【目標値】令和6年度：81％　令和7年度：82％　令和8年度：83％　令和9年度：84％　令和10年度：85％　令和11年度：86%)全国平均80.9％（令和5年3月診療分）								
2	既存	医療費通知	全て	男女	0 ～ 74	その他	1	ス	年1回、被保険者へ家族 分も含め通知（事業所経 由）	シ	-	外部委託	647	-	-	-	-	-	医療費コスト意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）
													年1回 確定申告の時期に合わせ て1年分を発行	継続	継続	継続	継続	継続		
発行回数(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：1回　令和7年度：1回　令和8年度：1回　令和9年度：1回　令和10年度：1回　令和11年度：1回)-												評価不能 (アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
													0	0	0	0	0	0		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度	
				アウトプット指標								アウトカム指標									
特定健康 診査事業	3	既存 （法定）	特定健康診査 （被保険者）	全て	男女	40 ～ （上限なし）	被保険者	3	ケ,サ	生活習慣病健診の受診者に補助金（上限9,000円）を支給。 労安法の事業主健診と協働。	カ	補助金支給の広報周知、 契約健診機関の整備	生活習慣病健診の受診者に補助金（上限9,000円）を支給。 労安法の事業主健診と協働。	継続		継続	継続	継続	継続	生活習慣病のリスクの早期発見・治療・予防に努める	被保険者・被扶養者ともに、特定健診受診率が全組合の平均より低い 被扶養者は大幅に低いため、健診データが少なく健康リスクを可視化できない 生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額 がんの医療費が上位を占める
	特定健診実施率(【実績値】90.7%【目標値】令和6年度：91% 令和7年度：92% 令和8年度：93% 令和9年度：94% 令和10年度：95% 令和11年度：96%)-													生活習慣リスク保有者率(【実績値】20.9%【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：19% 令和8年度：18% 令和9年度：17% 令和10年度：16% 令和11年度：15%)-							
	3	既存 （法定）	特定健康診査 （被扶養者）	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者,任意継続者	1	ア,ク,ケ	受診券を対象者に確実に渡すよう、自宅へ送付	シ	日時・会場を設定して受診しやすい環境を整える	8,219	-	-	-	-	-	受診率が低く、健康意識向上以前の問題であるので、受診率の上昇をめざす	被保険者・被扶養者ともに、特定健診受診率が全組合の平均より低い 被扶養者は大幅に低いため、健診データが少なく健康リスクを可視化できない 生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額 がんの医療費が上位を占める	
	通知案内件数(【実績値】2回【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)4/1時点の対象者に、案内文と集合契約で無料で使用できる受診券を自宅へ送付（5～6月） 未受診者へ受診勧奨													特定健診実施率(【実績値】37.1%【目標値】令和6年度：39% 令和7年度：41% 令和8年度：43% 令和9年度：45% 令和10年度：47% 令和11年度：49%)-							
	2,4	既存 （法定）	特定保健指導	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	1	ア,エ,オ,ク,ケ,コ,サ	対象者を抽出し、保健指導を実施（事業所訪問での指導・利用券送付・健診当日初回面談）	ア,ウ,カ,ケ	組合保健師による保健指導（web面接含む） 健診機関で健診当日に初回面接を実施	対象者へ利用券を送付。 組合保健師による保健指導。 健診当日の初回面接。	継続	継続	継続	継続	継続	対象者の特定保健指導利用の環境を整え、実施率を向上させる	特定保健指導実施率が低迷 生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額	
特定保健指導実施率(【実績値】21.8%【目標値】令和6年度：24% 令和7年度：26.5% 令和8年度：29% 令和9年度：31.5% 令和10年度：34% 令和11年度：36%)健診当日の初回面接できっかけを作り、終了までつなげるようにする。 組合保健師が事業所訪問を行い、指導を受ける機会を増やす。 web面接の体制を整える。													特定保健指導対象者割合(【実績値】19.2%【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：17% 令和8年度：16% 令和9年度：15% 令和10年度：14% 令和11年度：13%)-								
2,4	既存	特定保健指導 （RIZAP）	全て	男女	40 ～ 64	基準該当者	1	ア,エ,ク,ケ,サ	積極的支援対象者に案内をし、希望者がRIZAPからオンラインで保健指導を受ける	ア,ウ	RIZAPの専門指導員により、webで合計3回面談を行う。	積極的支援対象者の保健指導をRIZAPに委託	継続	継続	継続	継続	継続	2kg・2cm減を目指し、リピーターを減少させる	特定保健指導実施率が低迷 生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額		
参加者の選定(【実績値】28人【目標値】令和6年度：60人 令和7年度：60人 令和8年度：60人 令和9年度：60人 令和10年度：60人 令和11年度：60人)-													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】-【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：12% 令和8年度：14% 令和9年度：16% 令和10年度：18% 令和11年度：20%)特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率								
特定保健指導実施率(【実績値】21.8%【目標値】令和6年度：24% 令和7年度：26.5% 令和8年度：29% 令和9年度：31.5% 令和10年度：34% 令和11年度：36%)-													腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】25%【目標値】令和6年度：35% 令和7年度：40% 令和8年度：45% 令和9年度：50% 令和10年度：55% 令和11年度：60%)-								
保健指導 宣伝	5	既存	メンタルヘルスカウンセリング	全て	男女	0 ～ 74	基準該当者	1	ス	匿名で電話・面接によるカウンセリングを受けられる状況を設置する	シ	外部委託：（株）法研関西	880	継続	継続	継続	継続	継続	心の健康に関する相談窓口を設置し、組合員のメンタルの悩みの軽減の一助となる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	利用回数(【実績値】61回【目標値】令和6年度：40回 令和7年度：40回 令和8年度：40回 令和9年度：40回 令和10年度：40回 令和11年度：40回)-													評価不能 （利用者が増えるのがいいのか、悩む人が減って利用者が減るのがいいのか不明なため） （アウトカムは設定されていません）							
	2,5	既存	前期高齢者サポート事業	全て	男女	65 ～ 65	被保険者,被扶養者	1	ク	年度内に65歳になる者に生活習慣に関する冊子を配布し、健康意識の向上をめざす	シ	-	年度内に65歳になる者に生活習慣に関する冊子を配布する	継続	継続	継続	継続	継続	前期高齢者の医療費適正化 健康意識の向上	生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額 がんの医療費が上位を占める	
	実施率(【実績値】100%【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 対象者への実施率100%													評価不能 （アウトカムは設定されていません）							
													550	-	-	-	-	-			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度					
アウトプット指標													アウトカム指標												
2,4,5	既存		総合リスク者重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,オ,ク	健診結果より基準値以上の対象者に調査票を送付し、回答のあった者に電話で受診勧奨・保健指導を行う	ウ,ケ	外部委託：（株）法研関西	健診結果より基準値以上の対象者に調査票を送付し、回答のあった者に電話で受診勧奨・保健指導を行う	継続	継続	継続	継続	継続	高血圧、糖尿病、脂質異常症の重症化予防	生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額 がんの医療費が上位を占める					
実施率(【実績値】30% 【目標値】令和6年度：35% 令和7年度：35% 令和8年度：35% 令和9年度：35% 令和10年度：35% 令和11年度：35%)-													医療費削減効果がすぐにみえない (アウトカムは設定されていません)												
5	既存		市販薬斡旋事業	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア	年1回、けんぽだよりと同送して被保険者全員の手に渡るようにする。	シ	委託業者：キンキ商事（株）	年1回、けんぽだよりと同送して被保険者全員の手に渡るようにする。	継続	継続	継続	継続	継続	セルフメディケーション意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
実施回数(【実績値】1回につき年1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)被保険者1人につき年1回													申込者数の増加(【実績値】45.3% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：55% 令和8年度：60% 令和9年度：65% 令和10年度：70% 令和11年度：75%)-												
5	既存		すこやか健保の配布	一部の事業所	男性	18～（上限なし）	基準該当者	1	ス	すこやか健保を組合会議員へ毎月配布	シ	-	23	23	23	22	22	22	健康保険についての広報・周知	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
													すこやか健保を組合会議員へ毎月配布	継続	継続	継続	継続	継続			継続				
配布回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-													評価不能 (アウトカムは設定されていません)												
8	既存		育児書の贈呈	全て	男女	18～（上限なし）	基準該当者	1	ス	第1児出生家庭に育児書を贈呈	シ	-	280	-	-	-	-	-	子育てのサポート	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
													第1子出生家庭に育児書を贈呈	継続	継続	継続	継続	継続			継続				
実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													評価不能 (アウトカムは設定されていません)												
5	既存		「社会保険の事務手続き」配布	全て	男女	18～（上限なし）	その他	1	ス	「社会保険の事務手続き」を事業所へ配布（6月）	シ	-	100	-	-	-	-	-	担当者への健康保険に関する知識の教育・向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
													「社会保険の事務手続き」を事業所へ配布（6月）	継続	継続	継続	継続	継続			継続				
配布回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													評価不能 (アウトカムは設定されていません)												
2,5	既存		禁煙対策事業	全て	男女	20～（上限なし）	基準該当者	1	ア	特定保健指導該当者対象。 禁煙補助薬を支給。	ク,ケ	禁煙補助薬を扱う薬局（キンキ商事(株)）の薬剤師と組合保健師が連携をとりながら行う。	1,800	-	-	-	-	-	禁煙に取り組んでもらい、生活習慣病のリスク軽減、特定保健指導の該当者から外れることを目指す。	生活習慣病（血圧・脂質・血糖）の医療費が高額 がんの医療費が上位を占める					
													禁煙希望者に禁煙補助薬を支給 組合保健師がサポート	継続	継続	継続	継続	継続		継続					
禁煙取組者の増加(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：7人 令和8年度：9人 令和9年度：11人 令和10年度：13人 令和11年度：15人)-													禁煙取組者の達成率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-												
2,5	既存		健康管理啓発のパンフレット配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	各種保健知識に関するパンフレットを配布	シ	-	1,000	-	-	-	-	-	健康保険に関する知識の教育・向上	該当なし					
													各種保険知識に関するパンフレットを配布	継続	継続	継続	継続	継続			継続				
実施回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													評価不能 (アウトカムは設定されていません)												
													41,400	41,400	41,400	41,400	41,400	42,300							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
疾病 予防	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	35 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	3	オ,ケ,サ	労安法の事業主健診と協働。 年1回上限9,000円補助（ 受診券を使用しての特定 健診との併用は不可）	ア,カ	契約健診機関の整備	労安法の事業主健診と協働。 年1回上限9,000円補助。	継続		継続		継続		継続		受診者の増加 疾病の早期発見	被保険者・被扶養者ともに、特定 健診受診率が全組合の平均より低 い 被扶養者は大幅に低いため、健診 データが少なく健康リスクを可視 化できない 生活習慣病（血圧・脂質・血糖） の医療費が高額 がんの医療費が上位を占める	
	健診案内(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)1月下旬に事業主あてに生活習慣病健診の案内を送付												受診者の増加(【実績値】79.8% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：82% 令和8年度：84% 令和9年度：86% 令和10年度：88% 令和11年度：90%)令和5年度対象者（R6.2末時点35歳以上・被保険者）4,939人：うち受診者3,943人											
	3	既存	一般定期健診	全て	男女	18 ～ 34	被保険 者,被扶 養者	3	ケ	労安法の事業主健診と協働。 年1回上限1,500円補助。	ア,カ	契約健診機関の整備	労安法の事業主健診と協働。 年1回上限1,500円補助。	2,100	-	-	-	-	-	-	-	受診者の増加 疾病の早期発見	生活習慣病（血圧・脂質・血糖） の医療費が高額	
	健診案内(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)1月下旬に事業主あてに一般定期健診の案内を送付												受診者の増加(【実績値】71.5% 【目標値】令和6年度：73% 令和7年度：75% 令和8年度：77% 令和9年度：79% 令和10年度：81% 令和11年度：83%)令和5年度対象者（R6.2末時点35歳未満・被保険者）1,356人：うち受診者969人											
	2,3,4, 5	既存	子宮がん検診	全て	女性	35 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	生活習慣病健診・特定健診 の受診券送付時に案内	シ	年1回上限1,000円支給	生活習慣病健診・特定健診 の受診券送付時に案内 年1回上限1,000円補助	340	-	-	-	-	-	-	-	受診者の増加 疾病の早期発見	がんの医療費が上位を占める	
	健診案内(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)事業主へは生活習慣病健診の案内時に、被扶養者へは受診券送付時に案内												受診者の増加(【実績値】196人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：210人 令和8年度：220人 令和9年度：230人 令和10年度：240人 令和11年度：250人)令和5年度対象者（R6.2末時点35歳以上・女性）2,815人：うち受診者196人											
	2,3,4, 5	既存	乳がん検診	全て	女性	35 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	生活習慣病健診・特定健診 の受診券送付時に案内	シ	年1回上限2,000円支給	生活習慣病健診・特定健診 の受診券送付時に案内 年1回上限2,000円支給	760	-	-	-	-	-	-	-	受診者の増加。 疾病の早期発見。	がんの医療費が上位を占める	
	健診案内(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)事業主へは生活習慣病健診の案内時に、被扶養者へは受診券送付時に案内												受診者の増加(【実績値】311人 【目標値】令和6年度：320人 令和7年度：330人 令和8年度：340人 令和9年度：350人 令和10年度：360人 令和11年度：370人)令和5年度対象者（R6.2末時点35歳以上・女性）2,815人：うち受診者311人											
	2,3	新規	腫瘍マーカー検診	全て	男性	35 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	生活習慣病健診・特定健診 の受診券送付時に案内	シ	年1回上限1,000円支給	生活習慣病健診・特定健診 の受診券送付時に案内 年1回上限1,000円支給	1,100	-	-	-	-	-	-	-	受診者の増加。 疾病の早期発見。	がんの医療費が上位を占める	
	健診案内(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)事業主へは生活習慣病健診の案内時に、被扶養者へは受診券送付時に案内												受診者の増加(【実績値】1,069人 【目標値】令和6年度：1,100人 令和7年度：1,100人 令和8年度：1,100人 令和9年度：1,100人 令和10年度：1,100人 令和11年度：1,100人)令和5年度対象者（R6.2末時点35歳以上・被保険者）4,939人：うち受診者1,069人											
	8	既存	インフルエンザ予防接種補助金	全て	男女	0 ～ （上 限 なし）	加入者 全員	1	ス	事業所を通じて請求・支払 手続きを行う	シ	10月～翌1月中の接種に 対し、上限1,000円支給	事業所を通じて請求・支払 手続きを行う 10月～翌1月中の接種に 対し、上限1,000円支給	4,500	-	-	-	-	-	-	-	インフルエンザ重症化予防 医療費の削減	該当なし（これまでの経緯等で実施 する事業）	
事業の広報(【実績値】3回 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)利用者の増加を目標に、事業主宛て文書・けんぽだより・HPで広報												利用人数(【実績値】3,033人 【目標値】令和6年度：3,100人 令和7年度：3,100人 令和8年度：3,100人 令和9年度：3,100人 令和10年度：3,100人 令和11年度：3,100人)-												
3,4	既存	ファミリー歯科健診	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ア,ケ	前期：8～9月17会場 後期：1～3月22会場 全 国の会場で健診態勢を整 え実施	ク,シ	近総協經由の共同事業会 へ参加 外部委託：（株）日本歯 科衛生協会	近総協經由で共同事業会 へ参加 前期と後期に健診会場を 複数設定して実施	1,050	-	-	-	-	-	-	-	う蝕、歯周病等の早期発見から歯科医療費 の将来的な削減を目指す	該当なし（これまでの経緯等で実施 する事業）		
参加人数(【実績値】70人 前期50人 後期20人 【目標値】令和6年度：70人 令和7年度：80人 令和8年度：90人 令和9年度：100人 令和10年度：110人 令和11年度：120人)												医療費削減効果はすぐに見えないため (アウトカムは設定されていません)												
2,3	既存	ピロリ菌検査	全て	男女	15 ～ （上 限 なし）	加入者 全員,基 準該当 者	1	ウ	年度内に30歳に到達する 希望者に便中ピロリ菌を 健保負担で実施 年齢制限なく希望者に全 額自己負担にて斡旋する	シ	委託先：メスブ細胞検査 研究所	・当年度に30歳の誕生日 を迎える加入員に、便中 ピロリ菌検査を無料で実 施する ・年齢制限なく希望者に 全額自己負担にて斡旋す る	480	-	-	-	600	600		ピロリ菌陽性者の発見 早期に受診・除菌治療を 促し、胃がんの発生を予 防する	がんの医療費が上位を占める			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
申込者数(【実績値】41.9% 【目標値】令和6年度：45% 令和7年度：46% 令和8年度：47% 令和9年度：48% 令和10年度：49% 令和11年度：50%)対象者117名 申込者49名												陽性者の治療率(【実績値】0% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)陽性者4人 治療者0人 (3/21時点1月診療レセプトまで確認)												
体育 奨励	3	既存	線中がん検査	全て	男女	62 ～ 62	加入者 全員	1	ウ	年度内62歳到達者へ無料 実施の案内を送付	シ	-	2,130	-	-	-	-	-	がんの早期発見・治療を目的 前期高齢者になる前に治療を終了させ高齢 者の医療費を抑制する	がんの医療費が上位を占める				
	申込者数(【実績値】47.1% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)対象者157人 申込者74人												治療者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)高リスク者が受診・治療へ進んだ割合											
	5	既存	ボウリング大会	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	ス	業界団体と共催	シ	-	200	-	-	-	-	-	運動意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）				
	参加者数の現状維持(【実績値】48人 【目標値】令和6年度：48人 令和7年度：48人 令和8年度：48人 令和9年度：48人 令和10年度：48人 令和11年度：48人)現状維持												評価不能 (アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	テニス大会	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	ス	業界団体と共催	シ	-	200	-	-	-	-	-	運動意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）				
	参加者数の現状維持(【実績値】69人 【目標値】令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)参加者65名以上												評価不能 (アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	ウォーキング ポイントプロ グラム	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者,被扶 養者,基 準該当 者	1	ア,ク	4～6月、10～12月の3か 月間で、70万歩以上と90 万歩以上の2レベルの歩数 達成者に図書カードを贈 呈	シ	-	1,100	-	-	-	-	-	健康増進・運動習慣の定着を図る	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）				
	参加者の増加(【実績値】724人 【目標値】令和6年度：780人 令和7年度：840人 令和8年度：900人 令和9年度：960人 令和10年度：1,020人 令和11年度：1,080人)春 347人 秋 377人												評価不能 (アウトカムは設定されていません)											
そ 他	8	既存	JTB契約保養所	全て	男女	3 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	広報誌およびHPで周知	シ	JTBを通じて申し込んだ宿 泊旅行に補助金を支給	315	-	-	-	-	-	心身の保養	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）				
	利用者数の現状維持(【実績値】42人 【目標値】令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-												評価不能 (アウトカムは設定されていません)											
	8	既存	亀の井ホテル 利用補助金	全て	男女	6 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	広報誌およびHPで周知	シ	亀の井ホテルを利用した ときに補助金を支給	225	-	-	-	-	-	心身の保養	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）				
	利用者数の増加(【実績値】21人 【目標値】令和6年度：25人 令和7年度：25人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：25人 令和11年度：25人)-												評価不能 (アウトカムは設定されていません)											
	8	既存	HPDコーポレ ーション利用 補助金	全て	男女	3 ～ (上 限 なし)	被保険 者,被扶 養者	1	ス	広報誌およびHPで周知	シ	HPD関連施設を利用した ときに補助金を支給	38	-	-	-	-	38	心身の保養	該当なし（これまでの経緯等で実 施する事業）				
利用者数の増加(【実績値】- 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-												評価不能 (アウトカムは設定されていません)												

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他